

回 覧

湯川村立小学校のあるべき姿 についての報告書

村 民 各 位

令和 7 年 2 月 27 日
湯 川 村 教 育 委 員 会

小学校のあるべき姿検討委員会では、18名の委員により、笈川、勝常両小学校の特色ある教育活動の良さや課題、そして保護者や子供たち、地域の思い、教育を取り巻く環境の動向等を協議し、今後の湯川村の小学校のあるべき姿についての報告書をまとめました。

教育委員会では、検討委員会から提出されたこの報告書について村民の皆様にお知らせするとともに、報告内容を踏まえ、村立小学校の整備方針について検討してまいります。

報告書に添えられた資料については、回覧させていただきますのでご覧ください。また、村ホームページにも掲載しております。なお、右のQRコードからご覧いただくこともできます。



■お問合せ先

湯川村教育委員会学校教育課

電 話：0241-27-2250

メール：kyouiku@vill.yugawa.fukushima.jp

湯川村立小学校のあるべき姿 についての報告書

令和7年1月 23 日

令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」

目 次

I 本村の小学校のあるべき姿の検討の必要性について

II 検討結果

III 今後に向けて

IV 資料

資料No. 1 湯川村立小学校のあるべき姿について

資料No. 2 「小学校のあるべき姿検討委員会」委員名簿

資料No. 3 「小学校のあるべき姿検討委員会」の会議内容（会議録）

資料No. 4 湯川村立小学校の児童数について

資料No. 5 湯川村の学校の「あるべき姿」についてのアンケート調査結果

I 本村の小学校のあるべき姿の検討の必要性について

1 本村の学校のあるべき姿に係る課題について

課題の1つ目は、笈川小学校、勝常小学校、両小学校での児童数の減少です。本村の児童数は長期的には減少していくものと見込まれます。

笈川小学校の児童数は、平成28年度の114人をピークに年々減少しており、令和6年度の児童数は76人ですが、令和12年度には59人、令和13年度には新入生が2人、全校児童数は49人と減少していきます。

また、勝常小学校の児童数は、若者向け公営住宅の建設などの施策により、令和9年度までは増加して95人となりますが、それ以降は減少に向かい、令和13年度には新入生が6人、全校児童数は62人と見込まれております。

このような児童数の減少により、笈川小学校・勝常小学校共に、令和12年度には複式学級となる学年が出現する可能性があるほか、教育活動等を行う上で様々な課題が生じることが予測されます。資料No.4

このように両校の児童数の急激な減少は、学校における教育活動のみならず、その他の集団活動を行う上で課題となっております。

2つ目は、学校施設の老朽化です。今後、昭和40年に建てられた笈川小学校の体育館、昭和50年代に建築された両校の校舎が一斉に更新時期を迎えようとしており、学校施設を効果的に整備していくことが求められています。資料No.4

これらのことを踏まえ、各小学校の特色ある教育活動のよさや課題、そして保護者や地域の思い、教育を取り巻く環境の動向等を勘案し、課題に対して検討をしていく必要性があります。

2 「小学校のあるべき姿検討委員会」の経過

令和4年度に「小学校のあり方について意見を聞く会」を設置し、令和5年度までの2年間をかけ、様々な立場の方からご意見をお聞きし、本村の小学校の教育行政に関して、「教育制度」、「放課後児童クラブ」、「小学校の統合」等について協議・検討を重ねていただき、提言をまとめていただきました。この中で、小学校の統合については、委員より様々な視点からの賛成、反対の意見等があり、「小学校のあり方」についての議論については、更に深める必要があることが示されました。

令和5年12月に開催された「湯川村総合教育会議」では、小学校統合の検討が協議事項となり、村長から小学校統合に係る意見を聞く機会を設け、今後の理想像、あるべき姿を検討したい意向が示されました。

このような経過を経て、本年度「小学校のあるべき姿検討委員会」（以下「検討委員会」）が立ち上げられ、検討委員会には、教育長から以下の2つについて、調査、検討を行うよう

依頼がありました。**資料No. 1**

- 1 湯川村立小学校の適正規模・適正配置について
- 2 湯川村立小学校の今後のあるべき姿や将来の学校像等に対する本村の基本的な考え方について

なお、検討委員会は、小・中学校の保護者代表（各校2名）、幼稚園・保育所の保護者代表（2名）、学校運営協議会委員代表（4名）、幼稚園運営評価委員代表（1名）、区長会代表（1名）、校園長会代表（1名）、学識経験者（1名）、公募委員（2名）の計18名で構成しています。**資料No. 2**

検討委員会は、以下のとおり計5回開催しました。**資料No. 3**

- 第1回検討委員会 令和6年7月31日 湯川村役場「会議室」
- 第2回検討委員会 令和6年9月20日 湯川村役場「会議室」
- 第3回検討委員会 令和6年10月31日 湯川村役場「会議室」
- 第4回検討委員会 令和6年11月28日 湯川村役場「会議室」
- 第5回検討委員会 令和6年12月23日 湯川村役場「会議室」

検討委員会では、本年度に教育委員会が実施した「湯川村の小学校の『あるべき姿』についてのアンケート」の結果を受け、今後の教育行政の方向性を定めるために、小学校の統合、児童数減少への対応、通学時の安全性の確保等について検討を行いました。

本報告書では、依頼された項目を基に検討結果を以下のとおり取りまとめました。

Ⅱ 検討結果

検討委員会では、計5回に亘る会議の中で、「今後の湯川村の小学校のあるべき姿」について、議論を重ねてきました。

また、今回、教育委員会で実施した「中学生以上の村民の方を対象にしたアンケート」と「小学校3年生から6年生までを対象にしたアンケート」の2つのアンケートの結果が示されました。中学生以上の村民（2,661人）対象のアンケートでは、「統合して1つの小学校になることが望ましいのか」、「統合せずに2つの小学校がそれぞれ存続するのが望ましいのか」、村民の皆さんの考えをお聞きした結果（回答者数788人、回答率29.6%）、76%の方が「統合して1つの小学校になることが望ましい」との回答でした。また、この設問に関して自由記載をお願いしたところ、「登下校の不安」、「小中一貫校への移行」、「笈川・勝常の地区にとらわれない学校」、「将来の学校像」に関するご意見を多くいただきました。

一方、小学校3年生から6年生までを対象にしたアンケート（対象児童数94人、回答率

100%)では、「2つの小学校のままだいい」と回答した割合が53%(50人)と半数以上という結果でした。

「中学生以上の村民の方を対象にしたアンケート」と「小学校3年生から6年生までを対象にしたアンケート」では異なる結果となりましたが、検討委員会でアンケートの自由記載内容も含めて検討した結果、「1校に統合することが適切」であるという結論に至りました。

以下、検討結果について、アンケート結果も踏まえ、整理した内容を示します。資料No. 5

1 湯川村立小学校のあるべき姿について

(1) 学校規模

学級の規模に関しては、笈川小学校、勝常小学校ともに学年単学級であり、小規模校となります。小規模校では「人間関係の固定化」、「多様な考えに触れる機会がない」といった生活・学習環境が課題となっています。

今後、本村においては、令和12年度に笈川小学校、勝常小学校の両校に複式学級の出現の可能性があります。複式学級では、単学級以上に「人間関係の固定化」や「多様な考えに触れる機会がない」といった課題が大きくなります。児童の豊かな学びの環境の充実や教職員の負担軽減のためにも、複式学級を解消できる学校規模の確保が必要と考えます。

(2) 児童の発達段階や実態に対応した指導体制づくり

小学校の発達段階においては、社会性が身につく大切な時期になります。そのためには、沢山のひとのかかわり、多様な考え方に触れる機会を意図的に整える必要があります。子どもたちが勉強や運動で切磋琢磨したり、お互いに励まし合ったりできる教育環境を整えることが必要と考えます。

複式学級が解消されることで、教員数が確保され、児童にかかわる教員が必然的に多くなります。複数の目で児童の姿を見ることにより、児童理解がより深まります。また、習熟度別、個別の配慮、専科指導など児童の実態に応じた多様な教育活動が展開できます。

(3) 地域と学校のつながり

「地域とともにある学校」を目指し、世代を超えた交流を持つことで、「この村で生きている」という意識を子どもが持ち、郷土愛を育む土壌を作っていくことにつながります。

これまでの笈川地区、勝常地区といった地域性を超えて、「湯川村全域をひとつ」と改めてとらえ、それぞれの地区の行事等を教育活動に取り入れることで、どの地区に住んでいる児童も幅広く地区の行事に触れ、地区の伝統を継承できる取り組みにつなげることができます。

（４）教職員の資質向上

教員が少ないと学年の授業準備や教材研究を一人で行うことが多くなります。一方、教員が多数いると学年部会や教科部会、校務分掌等において組織的に運営し、複数の視点で教材研究や学年間にわたる系統的な教育に取り組むことができます。児童の実態に沿った、身につけたい力を明確にした授業づくりの推進につながります。

（５）２校存続を希望する子どもたちの気持ちの重視

小学３年生～６年生へのアンケート結果は、２校存続を望む回答が５３％（５０人）を占めました。このことから、多くの児童が「大きな不安や不満を抱えることなく学校生活を送っている」ことがうかがえます。また、「人数が少ないほうが先生にたくさん教えてもらえる」、「人数が少ないほうがおちついて勉強や生活ができる」と考えている児童が多いからであることがアンケート結果から分かります。

一方、統合を望む児童（３４人・３６％）は、「人数が多い方がいろんな遊びができる」、「幼稚園の時の友達と一緒にになれる」、「勉強や運動でいろんな人と競争できる」などの理由を述べています。

教育委員会には、このような子どもたちの「たくさん学びたい」、「おちついた環境で生活したい」、「たくさんの友達と遊んだり競争したりしたい」という願いに応えることができるように、先生方の授業力や集団づくり、学級経営スキルの向上のための研究会や研修会を工夫していただきたいと思います。

２ 小学校の今後のあるべき姿や将来の学校像に対する本村の方向性

（１）小学校の施設・整備について

児童の学びの環境を整えるために、以下の点について検討が必要です。

① 統合小学校の場所

「新規小学校の構築」、「既存小学校の活用」、「村施設の活用」

② 既存施設の老朽化

③ 施設の充実

（２）特色ある教育の創出

本村での「保・幼・小・中の１５年間をつなぐ『ゆがわっ子育成プラン』」の充実を図り、「自分が好き 友達が好き 学校が好き 湯川村が大好きなゆがわっ子」の育成と地域活性化のために、本村の教育の充実を求めます。

○新しい教育、学習指導要領に対応した「生きる力を育む」教育活動の推進

- 児童の資質・能力を引き出し、伸ばす授業づくり、学級づくり・学級経営力の育成
- 地域と連携した教育活動の推進（学校運営協議会・地域学校協働活動の一体的推進）
- 地域素材を生かした郷土学習、それぞれの学校の伝統と良さを引き継ぐ学習活動の充実
- 多様な学習活動の実践（ＩＣＴの利活用、英語教育の推進、体力向上の取り組み など）

（３）教育課題に対する対応

一人一人がのびのびと自分らしさを大切に、安心・安全な学校生活を送ることができるように以下の点について求めます。

- いじめ・不登校のない学校づくりを行うこと。
- 個別に支援が必要な児童生徒への配慮を行うこと。
- 多様性への理解とよりよい人間関係づくりに向けた教育活動を行うこと。
- 特別支援教育及びインクルーシブ教育を推進すること。

（４）通学路の安全確保について

統合に伴い通学距離が長くなる場合は、不審者による犯罪や交通事故の防止等に向けた検討が必要となります。

- 通学路の安全点検の実施、要注意箇所の把握・周知及び事故防止のための具体的対応
- 集団登下校の方策を策定・実施
- スクールゾーン、カーブミラー、街灯、横断歩道等の整備
- スクールバス等の導入

（５）統合後の跡地や建物（校舎や体育館等）の活用について

既存校舎の利活用について、地域の考えを十分に踏まえながら、関係各課との連携を図り、その活用方法について検討する必要があります。

小学校が地域コミュニティの拠点として地域の活性化に貢献していたことを踏まえ、新たな地域コミュニティの機能を持ち、地域の活性化につながる施設となるよう十分検討していく必要があります。

（６）放課後児童クラブとの連携について

放課後児童クラブについては、統合後の校舎の利活用も含め、設置場所等について、関係各課との連携を図り、そのあり方について今後も検討していく必要があります。

（７）小中一貫校の検討

本村が取り組んでいる「15 年間をつなぐゆがわっ子育成プラン」の視点から、小学校の統合だけにとどまるのではなく、小中一貫校もひとつの統合の形と考えられます。

(8) むらづくり政策との連動について

小学校統合の検討とともに、本村の人口増、少子化対策、若者定住を図る政策を実施していく必要があります。今後、本村の小学校の存続に向けて、むらづくり政策と連動した取り組みが必要となります。

また、全国的な人口減に対抗するため、自治体の枠を超え、近隣市町村と連動した移住促進政策等の検討が必要となります。

地域の人と一緒に作る学校、地域コミュニティとのつながりを大切にした学校を推進することも重要です。(地域学校協働活動およびコミュニティスクールの推進)

(9) 統合に向けた検討

笈川小学校、勝常小学校の両校共に、令和12年度には複式学級が出現する可能性があるため、早急に検討を進めていく必要があります。

また、検討にあたっては、子どもたち、保護者、地域住民に対して丁寧な説明を行うとともに、多くの皆さんの考えや思いを丁寧に聞きながら検討をしていくことが大切です。

(10) 統合準備委員会の立ち上げ

学校統合や整備の具体的な内容については、村の計画や財政状況に関わることもあり、状況の変化に応じて見直しも予想されることから、あえて本報告書では具体的な方向性を示すことを避けることとしました。

検討委員会での議論の中で出された課題については、今後、ハード面、ソフト面について新たに統合準備委員会等を立ち上げ、課題解決を図る必要があります。

Ⅲ 今後に向けて

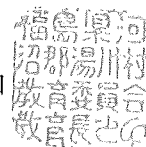
検討委員会では、急激な児童数の減少を迎えるなか、本報告書が今後策定される整備計画や令和8年度からはじまる第6次湯川村振興計画に反映され、これからの湯川村を担う子どもたちにとって最適な学びの環境を構築・整備するために、できるだけ早い統合に向けた取り組みを期待します。

また、児童同士のつながりが深まるような教育活動を子どもたちと共に考え、各学校間の教育課程を調整し、交流学习等を計画的に実施したり、統合に向けての人的配慮等を行うなど、スムーズに統合ができるように配慮をお願いします。

IV 資料

小学校のあるべき姿
検討委員会委員長 様

湯川村教育委員会
教育長 二瓶 重和



湯川村立小学校のあるべき姿について（依頼）

本村では、少子化の進展等に伴い、児童数の長期的な推移については今後とも減少傾向が続くものと見込まれ、このことは、学校における教育活動のみならず、その他の集団活動を行う上で課題となっています。また今後、昭和40年代から昭和50年代にかけて建築された小学校施設の更新時期を迎えようとしており、小学校施設を効率的かつ効果的に整備していくことが求められています。

これらのことを踏まえ、村立の筈川小学校、勝常小学校、両校の特色ある教育活動のよさや課題、そして保護者や地域の思い、教育を取り巻く環境の動向等を勘案しながら、湯川村立小学校のあるべき姿に関する下記の事項について調査及び検討を行ってくださるよう依頼いたします。

記

○調査及び検討事項

- 1 湯川村立小学校の適正規模・適正配置について
- 2 湯川村立小学校の今後のあるべき姿や将来の学校像等に対する本村の基本的な考え方について

・令和6年度 小学校のあるべき姿検討委員会 委員名簿

〔任期：令和7年3月31日〕

No	機関区分	役職等	氏 名	行政区	備 考
1	笈川小学校PTA	会長	鈴木 将浩	桜づつみ	
2	笈川小学校PTA	副会長	山浦 亜由美	桜づつみ	
3	勝常小学校PTA	会長	小林 健太	勝常	
4	勝常小学校PTA	副会長	佐藤 由佳	勝常	
5	湯川中学校PTA	会長	渡部 隆義	浜崎	
6	湯川中学校PTA	副会長	津村 愛	中扇田	
7	湯川村保育所保護者	会長	鈴木 善光	笠ノ目	
8	ゆがわ幼稚園保護者	会長	常法寺 裕貴	下樽川	
9	湯川村公立学校における 学校運営協議会委員	委員	五十嵐 喜浩	上樽川	委員長
10	湯川村公立学校における 学校運営協議会委員	委員	菊地 正孝	八日町	副委員長
11	湯川村公立学校における 学校運営協議会委員	委員	宇佐美 大祐	勝常	
12	湯川村公立学校における 学校運営協議会委員	委員	鈴木 隆	笠ノ目	
13	ゆがわ幼稚園運営評 価委員	委員	鈴木 美紀子	水谷地	
14	区長会	会長	鴻巣 重人	笈川	
15	校園長会	会長	荒川 信一	勝常小	
16	学識経験者	—	渡部 健司	高瀬	
17	公募委員	—	伊藤 幸喜	中扇田	
18	公募委員	—	増山 夏実	中扇田	
	湯川村教育委員会	教育長	二瓶 重和	事務局	
	湯川村教育委員会 学校教育課	教育次長兼 学校教育課長	坂内 真隆	事務局	
	湯川村教育委員会 学校教育課	主幹兼 学校教育係長	川島 茂宏	事務局	

令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」
第1回委員会 会議録

- 開催日時 令和6年7月31日（木） 19:00～21:10
○開催場所 湯川村役場 1階 会議室
○出席者 委員16名（18名中）、二瓶教育長、坂内教育次長兼学校教育課長、川島学校教育係長 計19名

<開会 19:00>

※委嘱状交付

会議に先立ち、二瓶教育長より委員を代表して鈴木将浩さんへ委嘱状の交付を行った。

1 開会

坂内教育次長兼学校教育課長（以下「事務局〈坂内〉」と言います。）が進行を務め、令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」第1回委員会を開会した。

2 教育長挨拶

改めまして、こんばんは。

4月から教育長に就任している二瓶重和と申します。今日は、本当にお疲れのところ、お忙しいところ集まりいただきましてありがとうございました。本来ならばゆったりできる時間帯なのかなと思いますが、もう暫く皆様方のお力をお借りしたいなと思いますのでよろしくお願いします。

令和4年、5年、2年間をかけて、小学校のあり方について検討してきたところでありますが、いよいよさらに一歩進んで小学校のあるべき姿について検討していきたいということで、皆様方に委員をお願いすることになりました。どんなふうな小学校をこれから創っていけばいいのかについて、いろんな立場からご意見を頂戴したいなと思います。

そして、村として掲げている湯川村のために力を尽くしていきたい、湯川村がもっともっと良い村、住み良い村、住みたい村、生きがいを感じることができる、そんな湯川村を創っていけるように、そんな子供たちに育っていただきたい。

そういったことで、皆様方のいろんなお考え、いろんなアイディアを頂戴できたらいいなと思います。お世話になります。どうぞよろしくお願いします。

3 自己紹介

各委員より自己紹介を行った。

4 小学校のあるべき姿検討委員会の設置について

事務局〈坂内〉より、資料中の設置要綱について説明した。

5 委員長・副委員長の選出

設置要綱第3条第3項の規定に基づき、委員長及び副委員長の選出を行った。

事務局案として、一昨年、昨年の2年間「小学校のあり方を聞く会」の委員長、副委員長を務められた五十嵐喜浩氏、菊地正孝氏をそれぞれ選出する案を提示し、全員の了承を得て決定した。

委員長：五十嵐喜浩 氏 副委員長：菊地正孝 氏

○五十嵐委員長及び菊地副委員長が就任の挨拶を行った。

・五十嵐委員長

改めて、おばんでございます。

ご指名ありました、学校運営協議会の五十嵐と申します。よろしくお願いします。

私は2年間、小学校のあり方を聞く会の委員長を務めさせていただきました。

その中で、話し合ってきたのは子ども達をどのような姿で学びさせたいのかを中心として、あくまでも統合を最終目的とした話し合いではありませんでした。そこは誤解されてもらっては困ると思うのですが、今回からは、適正配置、いわゆる適正規模、それに向けた話し合いになってきますので、そのへんを含みながら、皆さんの忌憚のないご意見を頂戴してまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思っております。

・菊地副委員長

副委員長を仰せつかりました八日町の菊地でございます。

昨年度も一昨年度も、委員長さんと一緒にさせていただきましたが、一步前進できるよう会議を進めていきたいと思っておりますので、また、委員長をささえながらやってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

6 協議

五十嵐委員長（以下「委員長」と言います。）を座長に協議に入った。

（はじめに、2年間の「小学校のあり方を聞く会」の協議内容について、委員長が説明した。）

・統合問題を最終的な課題と考えた場合、どんな学校の問題があるか話し合ってきた。児童クラブ、中学校の教育支援員の配置、防犯、不登校対策、統合を視野に入れた小中一貫校としてのあり方等の問題を話し合ってきた。

2年間の協議により、委員会として今後どんなふうに学校をもっていくのかについて、ある程度方向は見えてきたと思う。

今年からは、あるべき姿になっているので、これから小学校をどうするのか、今ほど教育長さんからお話あったように、学校の適正規模・適正配置、小学校の今後のあるべき姿や将来の学校像について、この2点について、今後皆さんからご意見を頂戴してまとめていきたい。

（1）村立小学校の現状について

事務局（坂内）より、事前配付してある資料により説明した。

○質疑応答

（委員）

現在の村振興計画、総合戦略の計画があるが、この検討委員会では、このような行政計画にとらわれず、それぞれの立場で、自由に意見を出せる、統合ありきの会議ではない認識でよいか確認したい。

⇒（二瓶教育長（以下「教育長」と言います。）そのとおり。村の計画の項目については、具体的にどう進めていくのか皆様のご意見をいただければと思う。この協議の行きついた先が、統合なのか、また、このまま統合せず継続なのか、子どもから、おじいちゃん、おばあちゃんまでの村民のいろいろな意見も参考にして協議していきたい。

(委員)

どういう小学校を創るのか話し合う中で、統合した方がいいのかどうか、統合の是非についてまとめることが必要となると想定するが、最終決定の議論は、別の組織で行うことでよいのか？この委員会は、意見を出し合う場だと考えていいのか？

⇒（教育長）皆さんでいろいろなご意見を出していただいて協議いただきたい。村民アンケートで村民の意見を聞きながら、統合に向かって進めるのがいいのか、このまま継続がいいのか、その理由をまとめていただき報告いただきたい。小中一貫教育や義務教育学校の課題については、次の段階と考えている。

また、児童クラブの運営場所等、現状の児童に係る課題についてもご意見をいただければありがたい。

(委員)

資料の「適正規模、適正配置等に関する手引き」にあるように、学校運営に関する視点は様々にあるので、論点が様々にある。協議を進めるにあたって論点を絞る必要があるのでは？

また、小学校統合に係る財政上の課題はこの委員会で検討するのか？

⇒（教育長）委員皆様お一人お一人視点をお持ちと思うので、視点をなるべく絞らず議論いただきたいと考えている。統合小学校建設等に係る財政上の資料については、費用の概要をお示しできると考えている。

(委員長)

これからどこに視点を当てて協議していくか難しい点があるが、児童数の減少が待ったなしの状況、校舎の老朽化、児童クラブの現状等、現実的な課題の論点を今後協議していくことがどうかと考える。

資料等でメリット、デメリットを確認しながら村での方向性を協議していきたい。今後こういった視点で協議を進めるか、次回委員会までに教育委員会と検討するので、よろしくお願いします。

(委員)

教育長からの協議依頼として、「適正規模、適正配置」があるが、適正規模・適正配置検討委員会はこの委員会の中に設置するのか？教育委員がいない形で議論するのではなく、本来ならば教育委員を含めた形で議論する会議等を設置すべきと考える。

また、旧河東町で河東学園に統合された経緯等、当時の状況の説明を聞きたいと思う。資料が足りない、また、人口ビジョン等の資料が古いと感じる。最新の資料を出してほしい。もう少し突っ込んだ議論をしたいと考えている。「あり方を聞く会」で議論を進めてきているが、今回は、統合の是非を話し合う会議ではないのか？

また、次期振興計画にも反映される議論になる。昨年、一昨年と同じ話をしているのは協議する意味がない。

⇒（教育長）今回は、次の村民アンケートの資料を準備させていただいた。これから議論を進めていかなければならないが、第1歩としてアンケート案を作成した。8月

中に村民の皆さん、小学生、中学生を対象に実施し、どんな考えでいるかをまとめ、それを基にして検討委員会の皆さんからご意見を頂戴したい。それからの協議の中で、新しい資料、データについて用意していきたい。

(委員)

適正規模・適正配置検討委員会は、この委員会の中に設置するのか？それとも教育委員会内に設置するのか？

⇒(事務局〈坂内〉) 教育委員会でこの検討委員会の設置を承認いただき進めているので、この検討委員会での協議により、報告書をいただきたいと思います。それを基に、その後の進め方については、教育委員会で検討していくことになる。

(委員)

あるべき姿検討委員会は、村民目線からするとどのようなものなのか議論するもので、その後に行政計画を進めていくものと考えている。振興計画の検討と同時に進めた方がいいと考えるが、現状では時間的にも難しいと考える。

⇒(教育長) 設置要綱にあるとおり、まず報告書をいただきたい。

(委員)

適正規模、適正配置をここで議論し決定するのか。教育委員がいないが？

⇒(事務局〈坂内〉) 報告を受けて、教育委員会で検討していく流れになる。来年度の進め方の検討を考えると、12月下旬には報告書をまとめていただきたいと思います。

(委員)

適正規模はいいと考えるが、適正配置はここで議論すべきではないと考える。

(委員長)

笈川小学校、勝常小学校をどうするかを議論するが、どう配置するかはその後の議論になると考える。

(委員)

適正配置については、スクールバスの課題として関わるので、その視点で議論していいと考える。

⇒(教育長) 適正規模について、重点的に検討課題として議論を進めていただきたい。スクールバス等、適正配置と関わる部分については議論いただきたい。

(委員長)

このように進めることでよろしいか？

※委員了承

(2) 今後の進め方について

(事務局〈坂内〉) より、事前配付してある資料により説明した。

○質疑応答

(委員)

報告書の起草者は誰なのか？事務局で原案を作成するより、委員会の委員で作成することがよろしいのでないかと考える。3,000人の村民の総意としてまとめる腹積もりで考えるべきでは？今、決定はしなくて良いが、検討いただきたい。

※委員了承

○住民アンケート（案）について

(教育長より説明)

⇒現在の小学生、中学生へのアンケートと、中学校を卒業した以上の村民を対象としたアンケートで分けて作成した。

子どもたちの設問は、子供たちはいろんな不安や楽しみがあるので、他の市町村のアンケートを参考にし、答えやすいように作成した。楽しみな部分が多いのか、不安な部分が多いのか、その結果によっては大きな課題として、改善の策を検討していかなければならないと捉えていく。一般向けのアンケートについては、望ましい学校について聞けるようにあえてバラバラな形で並べた。こちらも他の市町村のアンケートを参考にしている。

なお、8月中旬に村内に配布し、下旬に回収し、9月中に集計する予定。小中学生については、2学期が始まってすぐに実施していく予定。

(委員)

小中学生へのアンケートについては、現状に対する答えとなる恐れがある。それぞれの項目の前に「統合したら～」と加えたほうが良いと思う。

(委員)

世帯対象なのか、村民一人一人が対象なのか？

⇒（川島学校教育係長）村民一人一人となる。QRコードでの回答も可能とする。

(委員)

アンケートの実施主体は教育委員会なのか、この検討委員会なのか？

教育委員会からの調査であり、その結果を検討委員会で議論していくうえでの参考資料として提供することでよいのか？

⇒（教育長）そのとおり

(委員)

統合が前提として設定したアンケートなのか？

⇒（教育長）その設定が難しいところだが、まず、子ども、一般どちらも統合することについて賛成なのか、反対なのか大事なので聞いている。どちらかといえば賛成、反対の選択を入れている。さらに、統合するとしたらどう考えるか次の項目を設定している。

(委員)

子どもへのアンケートは、現状に対する満足度にとらわれがちで、将来のことについて答えれるのか疑問に思う。まずアンケートを実施するのではなく、この委員会での議論後、意向が見えてきてから実施したほうが良いと考える。

また、教育委員会からのアンケートなので、検討委員会の委員が賛成反対をいう立場ではないと理解はしている。検討委員会を尊重してアンケート案を説明されたと思うが、内容については十分教育委員会で検討いただきたい。

(委員)

小中学生へのアンケートについて、児童クラブについての項目は必要ないと考える。

⇒(教育長) 統合したら学校の中か近くに児童クラブが設置されるようになる。そのことで聞いている。

(委員)

子ども達が何を聞かれているか分かりやすいように検討(修正)をお願いしたい。

(委員)

小学校が統合されるとすれば、いつ頃実現するようになるのか？子供たちにアンケートをとっても、今の子供たちに関係するのか？

(委員長)

村長が村政座談会において、開校までは8年程かかると話をされた。

⇒(事務局〈坂内〉) 村長の話のとおり、統合小学校の開校までには8年程見込む必要があると考えている。

(委員)

統合小学校の開校が8年後の話であれば、幼稚園児を対象に加えたかどうか？

また、中学生に聞いても関心が低いので意味がないのではないか？中学生は一般村民としての実施でよいのでは？

(委員)

子どもへのアンケートは具体的な変化点を書いて欲しい。また、親が入ると親の意見が入りかねないと思う。

⇒(教育長) 子供たちに分かりやすいように表現等再検討します。

(3) その他

(委員)

委員一人一人から意見を聞くべきでは？

(委員長)

今回は、時間がないので次回以降お聞きして進めていきます。

6 閉会

委員長が第1回委員会を閉会した。

<閉会 21:10>

**令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」
第2回委員会 会議録**

- 開催日時 令和6年9月20日（金） 19:00～20:30
○開催場所 湯川村役場 1階 会議室
○出席者 委員16名（18名中）、二瓶教育長、坂内教育次長兼学校教育課長、川島学校教育係長 計19名

<開会 19:00>

1 開会

坂内教育次長兼学校教育課長（以下「事務局（坂内）」と言います。）が進行を務め、令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」第2回委員会を開会した。

2 委員長挨拶

改めまして、おぼんでございます。

今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今ほど坂内さんからお話があったように、今回は本当に皆さんのご意見を頂戴できなくて申し訳ございませんでした。今日は様相を変えて、グループ討議にしました。思う存分自分のご意見を発表していただき、議論を深めていきたいと思っておりますので、一つよろしくお願ひしたいと思ひます。

今日は、グループ討議の柱となるテーマを設けてありますので、それに基づいた話し合いを進めていただきたいなと思ひます。前回お話しできなかった分も含めて、今日は十分に自分の考えを出していただきたいなと思ひます。

ただ、これからも数回この会を開催しますので、今日の発表が自分の考えすべてではありませんので、これからいろんな方のご意見を聞いたり、あるいは資料を見たりして、気持ちが変わったり、やっぱりこうじゃないかな？と考えが変わったりするかもしれません。それはそれで結構ですので、ぜひ、小学校のあるべき姿について本当に考えていただきたいなと思ひますので、よろしくお願ひします。

尚ですね、何回も申し上げますが、この委員会は決定機関ではありませんので、この委員会で小学校の統合をするしないを決めるものではありませんから、そのへんは十分ご理解いただきたいなと思ひます。ただ、そんな会議であれば適当に話し合いすればいいじゃないかという話でもありませんので、ぜひ真剣に考えて話し合いをしていただきたいなと思ひますので、一つよろしくお願ひします。

今日は、8時30分に終わりたいと思ひますので、ご協力お願ひします。

3 報告

○村民アンケートについて（二瓶教育長（以下「教育長」と言ひます。））

※追加資料「小学校管理運営費に係る経費の推移」について（川島学校教育係長）

（委員）

統合してもしなくても児童数は変わらないので、タブレット購入費は、統合した場合、しない場合の比較する資料にならないと思う。水道光熱費等は比較する経費と解る。統合しない場合は経費がいくらとなり、する場合はいくらとなる、と比較できる経費の資

料を出してほしい。また、資料については事前にもらいたい。
(事務局〈坂内〉)
次回委員会までに修正した資料を用意します。承知しました。

(委員)

アンケートのことで確認させてください。教育委員会が実施主体者ということであるが、前提として統合ということの仮説に立った設問設定であることでお話を聞かせていただいたが、そういうことであれば、結果が真逆な結果がでたとしても村民の意向ということで尊重するのか？また、小学生のアンケートについても、私は子供たちに統合の是非を聞くことは酷なことだと思っている。子供は、現状志向が非常に強い傾向があり、真逆の結果がでることもあると推察するが、真逆の結果がでたとしてもその結果をしっかりと尊重するのか？

(教育長)

もちろんです。そのためのアンケートです。修正前は、すごく欲張りすぎて、急ぎすぎてという部分がありましたけど、統合がいいとか、存続がいいとか、存続についてもこういう存続がいいとか、いろんな考え方があるかなと思いましたので、そのようなことも加味したアンケートに作り替えたつもりではあります。
アンケート結果は、尊重はもちろん間違いなくします。

(委員)

令和12年度に複式学級の児童の当事者となる、現在の保育所の1歳児、2歳児の子供の保護者の考えを把握することが、アンケート結果を比較対照し分析するのに重要と考えるので、その設問内容を追加することを提案したい。

(事務局〈坂内〉)

教育委員に諮り検討したいと思います。

4 協議

○グループ討議

- ◇テーマ ・現在の小学校に対する考え
- ・令和12年度から複式学級が見込まれることについて

(事務局〈坂内〉)

- ・グループ討議の進め方について説明

※3班に分かれグループ討議の開始

- 1 意見を付箋紙にメモする（5分間）
- 2 各委員発表（各3分間）
- 3 意見を分類して小見出しをつける（15分間）
- 4 発表して全体で共有（各グループ5分間）

【グループ討議の発表】

〇Cグループ

◇現状の学校について（少人数のよさ）

- ・少人数ながら順調に成果が上がっている
- ・落ち着いた学校生活を送っている
- ・先生方から、湯川村の子どもたちは素直でいいと聞いた

◇特色ある教育

- ・特色ある教育、英語を話せる様にしたい。
- ・多くの人と関わり様々な体験をしてもらいたい。
- ・今の人数ならば各学校の特色がでていいと思うが、これより少ないと難しいのでは？

◇少子化の現状

- ・人数が少ない（児童数）
- ・人数が少ない、行政区でも子供のいない区がある
- ・少人数で、さらに幼稚園でいっしょの友達と離れるのはかわいそう

◇改善点（問題点）

- ・PTA 活動の負担が多いのかな？？
- ・PTA の役員等保護者の負担が増えている
- ・PTA の役員になる回数が多い
- ・専門科目の先生をお願いして担任の負担を減らす

◇統合賛成！

- ・人数が多い方がいろんなことが学べると思う
- ・災害基地になる学校づくり
- ・統合した方がいいと思う

（関連して）

- ・統合して児童クラブも併設して下さい
- ・児童クラブの充実も必要

◇？

- ・令和 12 年度以降の推移が…
- ・令和 12 年度以降の学級数を正確に追っていく必要がある
- ・複式学級解消のための統合ではダメ、問題は統合後のあり方
- ・あるべき姿を議論する場所、まずは、学校運営協議会が大切

◇その他

- ・地域の学校という視点
- ・統合問題の論点 教育問題、地域問題 ⇔ ピントこない（統合）※複式学級は6年後

〇Bグループ

◇湯川学園（統合が良い）

- ・統合した場合投稿距離が不安…
- ・少人数より多人数の方が子どもの視野も広がる
- ・クラブ活動やスポーツのチームができる
- ・財源に限界があり効率化が必要

- ・小学校一本化へ
- ・中学校で両校が一緒になるのだから小学校も統合でいいと思う
- ・複式だと学力面が心配
- ・複式学級の場合、学年の授業内容が変わる
- ・学校の学ぶ環境の改善（22 世紀）
- ・少数でも複式学級はさけるべき
- ・地域住民との関係薄いか
- ・防犯、自己防止の面から児童クラブは一本化
- ・各学校行事に対して合同にしないとたたない

◇今のままだがよい

- ・子供が少なくなっている、にぎやかになってほしい
- ・統合学校はゆとりある教室が良い
- ・今のままだと先生が目が届く
- ・施設の老朽化は直してほしい
- ・今のままでも良いと思う

◇やがては

- ・現学校の利活用を検討も必要
- ・小学校規模 メリット、デメリットを話合うべき
- ・複式学級とは？内容的にわからない

〇Aグループ

◇今の学校

- ・和気あいあいとしていて、先生との距離も近い。話しやすい。
- ・すみずみまで授業をみてもらえるところが良い
- ・人数が少ない分トラブルも少ない
- ・児童クラブが各学校に教室がないこと。親としては場所を移動して行くことに不安がある。
- ・私見ですが、今の小学校の規模は1 学年 10～20 人程度、指導者から見れば理想的な人数です。文科省も学級編成の人数を段階的に 35 人まで引き下げてますが、本音を言えば 35 人では多すぎると感じます。

◇統廃合

- ・ずっとそこにある物だと思っていた
- ・1 年生になった時に中の良かった子と別々になる可能性がある
- ・複式学級をやるなら統合のほうが良い
- ・少子化、老朽化 ⇒ 統廃合
- ・多様な意見にふれたほうが様々な考えが得られる
- ・統合により児童クラブ問題も解決
- ・学習は今までより難しくなる（細々とみてもらえないかも）
- ・新校舎を建てるとすれば、余裕のある教室数を
- ・R12 の複式学級は現実味があるのだろうが、R 9 までは勝常は増加している。このことは今後ありえないのだろうか。人口増の施策は？

◇複式学級

- ・複式学級のよさを知る ⇒ 大切
- ・自分の子供が入学中に複式学級になるとは思っていなかった
- ・複式学級指導 ⇒ 教師の負担
- ・各学年の色というのがある。複式になることでそれが良くも悪くもなる
- ・支援員の活用 ⇐ いない
- ・複式学級だけでなくそれぞれの学年で勉強できるほうが良いのでは...

◇地域

- ・地域交流が少なくなったと思う

(3) その他

(事務局〈坂内〉)

各グループから、様々な意見をまとめ発表いただきありがとうございました。

次回以降に、本日の様々なご意見を参考にして、掘り下げていきながらこの会を進めていきたいと思っております。

本日の資料として、今年度の計画（案）がありますが、これからの委員会開催として月1回程の予定としたいと思います。

第3回の委員会は、村民アンケート結果を集計してお示しさせていただいて、また、本日の議論を含めて意見交換を行っていただき、ご意見をまとめていきたいと思えます。

○諸連絡

次回開催日 令和6年10月31日（木）午後6時30分～午後8時00分

(五十嵐委員長)

本日はありがとうございました。

グループでいろいろ話を聞いて思ったのは、私事ですが子育ての終わった人間が感じたことです。

若い方、あるいはPTAの方のご意見、本当にすごくうれしいなと思えました。昔のことを思い出すなという感じで、新鮮なご意見ありがとうございました。

(教育長)

ありがとうございました。皆さんから熱心に協議いただいたことありがたかったなと思えます。

アンケートについて委員からご指摘いただいたことについて、「令和12年度に、小学2年生または3年生になるお子さんやお孫さんがいらっしゃいますか？」という設問をつけ加えたいと考えています。

6 閉会

事務局〈坂内〉が第2回委員会を閉会した。

<閉会 20:30>

Bグール-ジョ

湯川学園統合が"良い"

今のまが"良い"

子供が少なくなっているのに、
にぎやかな校舎に
なっている

統合された
校舎は
教室が広い

施設の
老朽化は
直してほしい

今のままだと
先が"目"が
届く

今のままだと
良いと思う

やばい

現学校の
利用と
検討も
必要

小規模学校
への移行は、
難しい

複式学級
は、
内容的に
難しい

統合した場合、
登校距離が
不安

統合された
校舎は
広く、
明るい

財政的に
厳しい
状況

小規模学校
への
移行

学校の
環境
改善

校舎
の
内装
改善

校舎
の
外装
改善

人数より
多人数の方が
子供の視野も広がる

中学校で
一緒に
勉強する
機会がある

複式学級
でも
学力が
伸びる

所収
の
面
積
が
狭
い

各小規模
校舎
の
利用
状況
を
把握
する

特色ある教育

少人数

① 今の人数で、
各教科の特色
を出していい環境
こそよき環境
ではないか

特色ある教育
英語を話す
様にしたい。
多くの人と関わり
様々な体験を
してもらいたい

小人数だから
順調に成果
が上がっている

落着いた子供
生活も送って
いる。
先生方から、湯
川村の子は、
今は素直でい
いと聞いている。

改善点

保護者

PTA活動加
負担がどの
くらい??

PTA役員等
保護者の負担
が増えている

役員になる
回数が多い

先生

専門科目の
先生をお願い
して、担任の
負担を減らす

少子化の現状

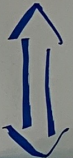
人数が少ない
(児童数)

人数が少い
行政でも、
子供のいない区
がある。

② 小人数で、
さらに少人数
でいいという意識
は、なかなか
変わらない。

地域での教育
という視点

統合問題の議論
教育問題
・地域問題



ヒントがない
(統合)

統合賛成!

人数が多...が
いろいろと
学べると思っ
た。
統合した方が
いいと思う。
（他校地には3
学校つく）

統合して
児童クラブも
併設して欲しい

児童クラブ
の充実も
必要

**令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」
第3回委員会 会議録**

- 開催日時 令和6年10月31日（金） 18：30～20：10
○開催場所 湯川村役場 1階 会議室
○出席者 委員15名（18名中）、二瓶教育長、坂内教育次長兼学校教育課長、川島学校教育係長 計19名

<開会 18:30>

1 開会

坂内教育次長兼学校教育課長（以下「事務局〈坂内〉」と言います。）が進行を務め、令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」第3回委員会を開会した。

2 委員長挨拶

改めて、おばんでございます。お忙しい中お集まり頂いてありがとうございます。

今回3回目ということで、教育委員会を実施した住民アンケートに基づいた話し合いをしていきたいと思ひます。今後の小学校の姿の傾向を捉えながら、皆で考えていきたいと思ひます。それぞれ率直な考えで結構ですので、キーワード等を探しながら、意見を出し合って、何が言えて、今後どの様な方法に進むべきか、考えていきたいと思ひます。

村民からの多様な意見を頂戴しましたので、大変な分量でもあります。私も一読したのですが、本当に考えさせられるご意見がたくさんありました。本当に感謝したいと思ひます。

今日は入り口を決めませんので、それぞれの考えからご意見をいただき、今後の方向性を深めていきたいと思ひますので、よろしくお願いいたしします。

3 報告

◇村民アンケートの結果について

・事務局〈坂内〉からのアンケート結果の報告前に、委員から文書でいただいた質問について、二瓶教育長（以下「教育長」と言ひます。）から、教育委員会からの回答を説明した。また、アンケート結果に対する意見に係る文書について、あわせて配付した。

（※別紙のとおり）

・委員

この会議の場で口頭で質問をすると長々と時間ばかりかかってしまうので、教育委員会さんにご配慮いただき、プリントでコメント書きましたが提出させていただきました。仔細については、後ほど皆さんの方で目を通していただき、設問に対する回答はこうだったのかということで、私の思いとしてはこういう考えがあったので質問させていただきましたということをご理解いただき、今後、また検討、開示が続きますので、その時にご参考いただければと思ひております。

意見書の方も同様で、グループ討議を行っていますが、時間的に報告書のたたき台作成が目前に控えていますので、お話しをできる機会があればぜひ、お届けしたいと思ひまして、勝手ながら無理を言ひまして、本日プリント配付をさせていただきます、後ほど、参考までにお目を通していただければありがたいです。

質問、意見等について、批判をいただいたり、ご意見いただくこともありがたいと思ひますので、後日、皆さんからお声をいただければと思ひます。

ご配慮ありがとうございます。よろしくお願いいたしします。

○川島学校教育係長より、アンケート結果を説明した。

※追加資料「小学校管理運営費に係る経費の推移」（修正版）についても説明した。

○質疑応答

（委員）

アンケート対象者が2,661名で、回答率が30%未満となったが、教育委員会ではこの数字をどうとらえているでしょうか？

（事務局〈坂内〉）

⇒先程、教育長からお答えしたことでありますが、一般的にアンケートの回答率については、20～30%となることを確認しております。

福島県で実施しているアンケート等を確認したところでも、3割未満となっています。

・委員

何万人もいるような自治体ではなく、この小さな村でのアンケートで30%未満の結果は、アンケート内容に問題なかったのか聞きたい。

・教育長

⇒内容については、4名の教育委員さんとも相談しながら、何回も何回も練りに練ってまとめた質問項目です。今回は、このままがいいか？統合に進むべきなのか？そのことだけに絞ってのアンケートを取らせていただきました。どちらにしてもどういう事が懸念されるのか？どういった事を期待するのか？そういった事だけについてお聞きしましたので、質問項目について問題があったのではないかという事については、心配はしておりません。

・委員

解りました。ありがとうございました。

4 協議

○グループ討議

◇テーマ ・『湯川村の小学校の「あるべき姿」について』住民アンケート結果の分析、考察について

（事務局）

- ・グループ討議の進め方について説明

※3班に分かれグループ討議の開始

- 1 意見を付箋紙にメモする（5分間）
- 2 各委員発表（各4分間）
- 3 意見を分類して小見出しをつける（15分間）
- 4 発表して全体で共有（各グループ5分間）

【グループ討議の発表】

○Aグループ

◇方向

- ・統合が望ましい

- ・統合が多いようだが
- ・小学生は友達の今
- ・統合を決定して今後を考える

◇必要

- ・スクールバス等の送迎方法を検討（コスト）
- ・安全対策が必要

◇村民の考え（もっと）

- ・30才代以下の意見がほしい
- ・年代別のアンケート結果を知りたい
- ・20代～40代の意向集約ほしい
- ・アンケート信頼性（若い親）
- ・若い人たちの考え方
- ・中、高、大学生や20代の意見を知りたい
- ・児童のアンケート（学校愛校心）

◇村の人口対策

- ・村の「ミリョク」が人口増に繋がる
- ・人口減少対策を考えてほしい
- ・若い人が残る村
- ・いろいろなアイディア

〇Cグループ

◇（意外、さみしくないのかな？地域の人も子供たちも）

- ・1つの小学校を望む声が多い、ただし、複式学級解消ならば
- ・統合賛成が多いので早く進めてほしい
- ・村長の方針（統合）で選ばれたので、統合進める
- ・複式学級への不安が大きい

◇メリット、デメリットをしっかりと考えて

- ・小中一貫校というのも考えに入れてもいいのでは
- ・子どもは現状が良いと思うのはあたりまえ
- ・子ども同士の人間関係の充実を望む
- ・友だち関係
- ・学習者としての人間関係

◇スクールバスか徒歩かは意見を聞き、正しい判断を。選択は可能か？

- ・スクールを利用するのは良いが、子どもの運動不足の不安もある
- ・スクールバスの必要性は高いのでは
- ・通学方法は？

◇プールなど、複合施設建設で検討できないか

- ・学校の場所は？
- ・施設の充実を望む声

◇湯川村の子供をどう育てるかの議論が大事では？

○Bグループ

◇アンケートの意見

- ・回答率40%はほしかったな
- ・小学生と中学生以上では、考えが違うということがわかった
- ・子どものアンケート結果にこれからの子供はどう思うのか？
- ・統合を望まない子どもの意見どうする
- ・設問より自由記載が大事（重要）

◇人口対策

- ・若い人が少ないとPTA、消防の地区の役員の当る率が高いので、小さい村にいたくない
- ・複式学級を解消するのに、子供を増やす策がむずかしい
- ・会津で若い人が働く環境や暮らしやすさを改善した方がいいと思う
- ・村として人口を増やす計画をしていく事が大事

◇統合

- ・統合した方が良いとの声が多い
- ・具体的に進めても良いと思う
- ・統合した方が良いという考えの人が多いことがわかった
- ・統合肯定案が多く参考になる。
- ・小中一貫教育
- ・統合しても小規模校

(事務局〈坂内〉)

各グループで、真剣に意見交換いただきありがとうございました。今回の住民アンケートは、村では初めて行ったアンケートとなります。この結果を資料として、本日討議を行っていただきました。本日の協議結果を踏まえて、次回第4回目の会議で、たたき台として、報告書の素案を作成したいと思います。第4回目の会議で報告書素案を協議いただき、12月開催を予定している第5回目の会議で報告書をまとめていきたいと考えております。また、ご意見等ございましたら、事務局へご連絡いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(3) その他

○諸連絡

次回第4回会議開催日 令和6年11月28日（木）午後6時30分～

(委員)

本年度報告書をまとめて、この検討委員会は終了すると思うが、今後、来年度以降、統合する場合、また、統合しない場合、どのような流れになるのかお知らせいただきたい。

(事務局〈坂内〉)

住民アンケート結果、また、本日の皆様の発表を踏まえて、統合が望ましいという方向で素案をまとめることができるのではないかと考えています。統合に向けた方向性は初めてのこととなりますが、この検討委員会で報告書をまとめていただいた後に、教育委員会に報告いただき、この報告書を踏まえて、教育委員会としての小学校を統合するかしないかの決定をさせていただく予定です。

統合に向けて進む場合、統合小学校の姿、統合小学校の建設場所、スクールバスの運行等参考となる多くの議論を行っていただいておりますので、改めて、住民の皆さん、関係者の皆さんのご意見等いただいて、どのような統合小学校にしていくのか検討していきたいと思っております。

(教育長)

次回の会議において、この検討委員会の後のことについても、皆様にお知らせし、ご意見を頂戴しながら進めていきたいと思っております。

6 閉会

事務局〈坂内〉が第3回委員会を閉会した。

<閉会 20:10>

委員からの「小学校の統合に関する村民意向調査の結果に対する質問について」への回答

1 調査の実施主体者に関する質問

- (1) 教育委員会（教育長及び4名の教育委員で構成する行政機関）ではすでに了承された集計結果であると捉えてよろしいでしょうか。

また、教育委員会では集計結果の数値に対する検証及び評価、さらに仮説（複式学級回避のため小学校の統合は必要）に対する考察はすでに行われているのでしょうか。

A. 今回のアンケートについては、教育委員会での了承のもとに実施しております。教育委員には、アンケート結果について「あるべき姿検討委員会」で説明し、両小学校の今後の方向性について議論いただくことを説明しております。また、今回のアンケート結果についても、教育委員にお知らせしております。

教育委員会では、この検討委員会での議論による報告を受けて、今後の村立小学校の方向性を決定していく考えであります。

また、「複式学級回避のため小学校の統合は必要」という仮説をもっているわけではありません。「統合して1つの学校になる」・「2校のまま存続する」のいずれにもメリット・デメリットがあります。村民の皆様にそれぞれの場合のメリット・デメリットを知っていただいた上で、お考えをいただきたいと考えました。

2 調査手法から見られる調査結果（集計数値）の信頼度に関する質問

- (1) 調査票の各世帯への一律配付（1世帯4枚）から懸念される問題点

これらの想定される懸念に関しては、検討することなく実施されたのでしょうか。もし、検討していたのであれば、このような懸念される問題をどのように払拭して対応されたのかも含めて答弁をお願いします。

A. 今回のアンケートは、9月末に村内に周知し、10月中旬に回収、集計する日程で実施しました。

実施するにあたり、村内の約1000世帯の各世帯毎の構成人数を確認し、人数分のアンケート用紙を世帯主様の名前を書いた封筒に入れ、さらに各集落の区長さんに間違いなくその世帯に配布していただくことは、たいへんな時間と労力が必要であることから、「一律に1世帯4枚」のアンケート回答用紙を配布させていただきました。さらに併せてQRコード読み取りからのインターネットでの回答を可能としましたので、中学生以上の世帯構成人数が4名を越える世帯においても、「回答用紙が足りないから回答できない」という事態にはならないだろうと判断しました。なお、回答用紙の不足についての問い合わせがあった場合には、その世帯へ直接に回答用紙をお届けすることにしておりましたが、結果としては用紙不足やアンケートの中身についての問い合わせ等はありませんでした。

無記名のアンケートなので、「1人の人が複数の回答をするおそれがあるのではないか」という懸念はありましたが、返信された封筒に入っていた回答用紙の数は「世帯の人数分以内」とであると、回答の内容や自由記述から判断できました。改めて村民の皆様が「小学校のあるべき姿」について真摯にお考えになられて回答をお寄せくださいましたこと、心より感謝申し上げます。

なお、各集落の区長さんにアンケートの配布をお願いしたことから、村の広報の配布対象となっていない介護施設等へは、アンケートをお届けしておりませんでした。このことにつきましては誠に申し訳ございませんでした。ただ、施設に入所されている方のご意向は、ご家族をとおして、ある程度はいただくことができたのではないかと考えております。

(2) 回答率が29.6%であったことについて

信頼度が懸念される調査結果の指数でも尊重して重大な村政の制作判断に活用されるとお考えなのかおたずねします。

A. 中学生以上のアンケート回収率が29.6%でした。この結果は、一般的に実施されているアンケートの回収率として、十分活用できるものと判断しています。

(3) 最後の意見欄に書き出された意見を一定程度のグループ化を試み数値化する必要がありますが、そのような対応は次回の検討委員会までされるお考えはあるのか、答弁をお願いします。

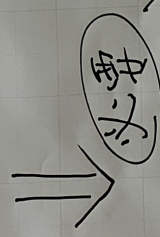
A. 本日の検討委員会で、アンケート結果についての熟議の中で分析・考察いただくことにより、村民の皆様からいただいたご意見について一定の分類や数値化ができるのではないかと考えております。本日のグループ討議の結果を踏まえて、検討委員会としての報告内容についての検討を進めていただきたいと考えております。

方向

統合水
望ましい

統合を
決定して
今後考える

「統合」が
よいのか
小学生
友達の今



必要

スクーピス
等の送迎
方法検討
(コスト)

安全対策
が必要

村民の考え(もと)

30年代以降
の意見か
ほしい

年代別の
アンケート結果
を知りたい

20代~40代
の意向集約
ほしい

アンケート
信頼性
(若親)

若い人たちの
考え方

中高・大学生
や、20代の
意見を知りたい

児童の
アンケート
(学校受検)

村の対策

村の「ミリオ
ン」人口増
に合わせる

人口減少
対策を
考えてほしい

若い人が
残る村

いろいろな
アイデア

アンケートの意見

回答率
40%は
ほしかたが

子供の
アンケート結果に
これからの子供は
どう思うのか？

統合を望む
子どもを
見どころ。

小学生と中学生
以上では、考え
が違っているか
わかった。

認可より
自由な
が大事！
(重要)

人口対策

若い人の
と、PTA、地域、
が、あつた
小中学校の
小中学校の
小中学校の

複式学級
と併設するの
子供を
もつた
金銭で
分けて
やると
改善
と
と

町民の
増やす
し、

統合

統合は
の多い
に
追
進
め
る
も
思
う

統合した方が
良いという考えの人
が多いことだ。

統合後
果が
多く
小中
教育
に
影響
が
ある

B グループ

学校の場所
は？

施設の充実
を望む声

フーリなど
複合施設、建設
で検討されている

子どもは
現状が良い
と思うのは
あたりまえ

スクールバスの
必要性は
高いけれど、

スクールバスを利用
するのは良いが、移動
運動不足の不安も
ある。

通学方法は？

スクールバスが徒歩か
は意見も聞き、正しい判断も。
選抜は可能か？

子どもと関係
の人間関係
の充実を望む

なにか関係
学習者として
の人間関係

湯川村では
子ども育て
いい方が多い
(勝常)(坂田)など

小中一貫校
のいいところ
あるけれど
いいところには
ない

統合賛成が
多いので、早く
進めたい

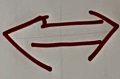
1つの小学校
を望む声も
多い

ただし、複式学
級、解消する
らば

複式学級
への不安が
大きい

村長の方針で
選ばれたので
統合を進める

子どもは
学校生活で
成長する
から、早く
進めたい



フーリなど
複合施設、建設
で検討されている



**令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」
第4回委員会 会議録**

○開催日時 令和6年11月28日（木） 18:30～20:25

○開催場所 湯川村役場 1階 会議室

○出席者 委員10名（18名中）、二瓶教育長、坂内教育次長兼学校教育課長、川島学校教育係長 計13名

<開会 18:30>

1 開会

坂内教育次長兼学校教育課長（以下「事務局〈坂内〉」と言います。）が進行を務め、令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」第4回委員会を開会した。

2 委員長挨拶 ※菊地副委員長代理

皆様、おぼんでございます。夜分お疲れのところお集まり頂いてありがとうございます。

この小学校のあるべき姿検討委員会でございますけども、いま案内のありましたとおり、回を重ねること4回目になりました。だいたい意見を出し尽くしたような気もありますけれども、この会の最初の目的としましては、「湯川村立小学校のあるべき姿について、全村的な視点に立って幅広い見地から検討するため、小学校のあるべき姿検討委員会を設置する。」ということで設置されまして、今日で4回目の討議となります。

先回、最後に事務局の方から話がありましたように、いままでだいたい意見も出尽くしたようでございますので、今回の会議で、たたき台として報告書の素案を作成いただきました。今日の会議で、素案を協議していただきまして、皆様方から「これを加えた方がいいのではないか?」、「削除してもいいのではないか?」と、そういうような意見を各グループごとにまた討議していただきながら、最後にまとめて発表していただくという形にしていきたいと思います。本日で粗々素案をまとめて、次回で教育委員会への報告書を策定し、提出していきたいと思いますので、慎重なご審議の方をよろしくお願いします。

本日は大変ご苦勞様でございます。

3 協議

○グループ討議

◇テーマ・「令和6年度湯川村立小学校のあるべき姿検討委員会 報告書（素案）」について

- ・事務局〈坂内〉が、欠席者が多く人数が少ないため2グループで討議をお願いする旨説明し、報告書素案について、川島学校教育係長より説明した。
- ※委員作成の意見書を各委員に配布し、本人より説明を受けた。
- ・第3回会議で要望を受けた今後の進め方について、事務局〈坂内〉より委員に説明した。
- ※統合小学校を整備する場合の流れ→「基本方針の作成～～～開校」

○委員

- ・放課後児童クラブを併設するかどうか検討事項になると思う。
- ・心配なのは、以前の「あり方検討委員会」では課題がたくさん出たが、結論が出ていない。
- ・検討委員会の考え方としての、責任を持つ意見を述べ結論を出していく必要がある。
- ・一つ一つの課題を検討する委員会を組織し、協議して行く必要があるのではないのか? 教育委員さんの中の議論が見えていない。教育委員会でもっともっと深まった議論がされているのであれば、その必要はないと思うところはあるが。

○菊地副委員長（以下「副委員長」と言います。）

この委員会については、あるべき姿をみんなで意見出し合って検討していったら、全体的に今日素案を作っていただきましたが、それに加筆訂正して、最終的に教育長に提出して、教育委員で検討してもらう形になりますので、その後の段階で、建設検討委員会等で検討してもらうことになると思います。ですから、いままでは意見を聞く場なので、今の段階で、統合していったほうがいいのではないかと素案でまとまりましたので、これについて後は今日報告書の文章を仕上げるようなご意見を頂戴しながら、報告書を策定していきたいと思います。

○委員

委員全員の意思決定というところで、意見書の内容には、「まだまだ混沌としている、はっきりしていない」という意見がでたのが、気になっているものですから、8割がたは賛成だという意見で結論と持っていて、納得してくれれば構わないが、そうとは言えないというものがあるならば、そのことについてだけでも..

統合というのは、この委員会として賛成だ、推進してほしいという提言をしていくわけだから、そのことについてまだ納得していないという意見の根拠というか、どの点でなのか聞かせていただいたほうが、胸のつかえがすっきりする気がします。

○委員

話をすれば1時間か2時間では、終わらないぐらいの意見が目を通せばでてくる。

委員の総意としてまとめ上げた文言の報告書であれば、行政機関に提出する報告書として価値のあるものとなる。

村民の声としてのガイドラインとして、有効活用できるものにしておかないといけないと思う。事務局から意見を整理してまとめただけでは、この委員会では良しとしても、参加していない異論のある村民からすれば何を言ってるんだという話になりかねないので、委員の総意でできた報告書として、納得して作成したものになければならない。様々な意見の着地点をしっかりと見つけなければならぬ。今日は、論点の発掘をして、一定の意見交換をしながら収まらないところは最終の次の会議で決着をつけるという形で進めてほしい。

○副委員長

前もって報告書素案を配布していますので、それを訂正なり、付け加えることがあれば、加えることで討議ください。よろしいですか？

※2班に分かれグループ討議の開始

- 1 素案について意見を付箋紙にメモする（5分間）
- 2 各委員発表（各4分間）
- 3 項目ごとに分類して、意見をまとめる（15分間）
- 4 発表して全体で共有（各グループ5分間）

【グループ討議の発表】

※（）内は発表時の補足説明

◇Aグループ

- ・魅力ある村作りで人が集まれるような地域にする
- ・少子化による子供の減少はまぬがれない為統合は必要である
（魅力ある村づくりができれば統合した後も安泰）

- ・学校教育の充実した素晴らしい学校を作ってほしい
- ・湯川としての特色ある学習のできる学校づくり（英語教育）
- ・インクルーシブ教育は必要
（障害ある子とない子が手を取り合い差別なく学ぶ多様性が重要）
- ・児童クラブの充実に力を入れる 施設、ソフト面で
- ・既存の伝統行事も統一へ
（勝常小学校の念仏踊り等、特色として継続するように）
- ・統合の場合 既存小学校の利活用を同時に話し合うべき
- ・駐車場を広々した施設へ
- ・防災対応の学校をつくる。バリアフリー等。
- ・バリアフリー
（おじいちゃん、おばあちゃんが学校に来て支障なく移動できる地域交流が可能な施設）
- ・給食室を作り、お弁当の日を全学年統一へ
（自前で提供できれば、地産地消ができ食育にも役立つ）
- ・一貫校の課題 校庭、体育館の大きさ、遊具、スポーツ用具など
（バスケ小学生 260cm、中学生 305cm）
- ・小中一貫校でなかよし学級を中学まで村内で出来ることで保護者の負担がへり魅力ある村になるのでは？
- ・スピードアップして、統合にむけて進めるタイムスケジュールをおおまかに示して下さい。
- ・今後統合に進むならスピード感をもって
（令和 12 年には複式が発生する恐れが目の前にある切迫している状況）

◇Bグループ

- ・アンケート調査 結果の信頼度にこだわる理由
（統計学的に問題ないのではないか）
（いまさらアンケート結果をどうのこうの議論するべきところではない）
（アンケート結果を尊重しよう）
- ・子どものアンケート結果（意見）触れてはどうか。
- ・何らかの形で結果残せ
（考察、明記されていない）
（雰囲気、情意面で判断したかもしれないが）
- ・小学校のあるべき姿に係る課題を追記
 - ・人口減少
 - ・老朽化
（10 年前から、20 年前から進展していない）

(結論を出すべきところはしっかりと明記しておくべき)

- ・学校教育制度の問題
- ・学校運営協議会の活用
(組織活用、制度活用をしていただきたい)
- ・日本型の教育制度
- ・地域とともにある学校づくりをめざす
(しっかりと明記すべき)
- ・義務教育学校
- ・小中一貫
- ・幼小中一貫
(どんなことが可能でどんなことができないのか議論が必要)
(実現をしていくのに阻害するものはなにか議論、検討が必要)
- ・議論が尽くされた報告書であることが必要条件
(課題として残っているものは明記すべき)
- ・今までの経過への疑問
- ・検討委員会設置の背景
- ・報告書の結果をもとにして、さらに検討委員会が必要。
(課題を検討せずに前に進めない)
(議論がまだまだ不十分ではないか)
- ・児童クラブ(充分確保)
(放課後児童クラブをどうするかが肝であり、かなり重要)

(事務局〈坂内〉)

今回も真剣に意見交換いただきました。ありがとうございました。

(二瓶教育長)

前に進むために必要な議論をしていただけたと思います。感謝申し上げます。

素案を何回も繰り返し見たつもりでしたが、始まってから子供たちのアンケートについて書いていないことに気づいてしまいました。やはり、見直したつもりでも抜けているところがある。だからこそ複数の目で見えていく必要があると改めて感じました。本当に今日はありがとうございました。

(事務局〈坂内〉)

Bグループで課題の検討が必要ではないかの発表がありました。一つ思うところは、基本方針の作成と、学校建設検討委員会の中でも話し合える想定はしておりました。十分本日の意見を参考に検討してまいりたいと思います。今回、素案を基に発表いただいて、ありがとうございました。次回の第5回目で、今回の意見を取り入れた形で報告書(案)

をまとめさせていただきたいと思います。またそこで、様々な意見をいただきたいと思いますが、Bグループでアンケート結果については、受け止めて前に進んでいいのではないかとのご意見をいただきました。ありがとうございます。報告書（案）をなるべく早くまとめて、事前配布をして、この委員会の最終会で皆さんの総意で報告書を策定いただければと思います。

（3）その他

○諸連絡

次回第5回会議開催日 令和6年12月20日（金）午後6時30分～

※日程調整により、令和6年12月23日（月）に変更した

（副委員長）

長時間に亘りまして、慎重審議していただきありがとうございました。皆さんの意見をよくまとめていただいて、より良い報告書をできるようにしていきたいと思います。次回は12月20日ということで、雪が降るかもしれませんが、体調を整えていただいてまた、最後の仕上げをしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。今日は長時間ありがとうございました。

6 閉会

事務局〈坂内〉が第4回委員会を閉会した。

<開会 20：25>

AGIL-79

小中一貫校で、
なかよし学習を中学
まで村岡に出張して
保護者の負担がへり
みりよくあるのでは？

スピードアップして
統合にむけて進める。
タムスケジュール
をおまかに示して下さい。

今後
おまかに進むが
スピード感をもち

統合の場合
既存小学校の利活用
を同時に検討へて

防災対応の学校
つくる。
バリアフリー等

バリアフリー

給食室を
作り、お弁当
日も全学年
統一へ

駐車場を
広々とした
施設へ

一貫校の課題
校庭、体育館の活用
遊具、スポーツ用財
(バスケ、1部260人、
1部305人)

少子化による
子供の減少は
まぬがれなない為
統合は必要である

学校教育の充実
した素晴らしい学校
を作らほしい

既存の
伝統行事
も統一へ

みえある村作り
で、人が集まる
よきな地域にする

インクルーシブ教育
は必要。

湯川としての
特色ある学習できる
学校づくり
(英語教育)

児童クラブの充実
に力を入れる。
施設、ソフト面で

Bグループ

アンケート調査
結果の増減夜に
こだわった。

子どもアンケート
結果(意見)

伺えては、
どうか。

何らかのやりと
り結果を残せ。

地味なところ
の改善を
目指す。

日本型の教育
制度

小学校のありさ
まに係る課題
を巡る

・人口減少
・高齢化

学校教育の
問題

・コミュニティ
・学校運営協議
の活用

幼・小・中一貫

義務教育
学校

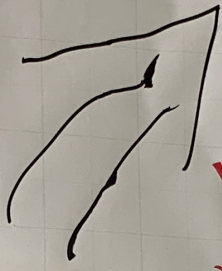
小・中一貫

児童クラブ
(充分確保)

議論が尽くされ
に報告書である
ことが必要条件。

今までの経
過への疑問

検討委員会
議題の背景



報告書の結果
をもとにして、さら
に

検討委員会
が必要。

**令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」
第5回委員会 会議録**

- 開催日時 令和6年12月23日（月） 18:30～20:25
○開催場所 湯川村役場 1階 会議室
○出席者 委員12名（18名中）、二瓶教育長、坂内教育次長兼学校教育課長、計14名

<開会 18:30>

1 開会

坂内教育次長兼学校教育課長（以下「事務局」と言います。）が進行を務め、令和6年度「小学校のあるべき姿検討委員会」第5回委員会を開会した。

2 委員長挨拶

皆様、おばんでございます。夜分お疲れのところお集まり頂いてありがとうございます。

この小学校のあるべき姿検討委員会でございますけども、いま案内のありましたとおり、回を重ねること5回目になりました。第4回の会議で出されたご意見等をさらに確かなものにするために、第5回の委員会を開催します。

最終的なご意見をいただいて、微調整はしながら検収していきたいと思いますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

尚ですね、本当に今回が最後になりますので、皆さんの忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

3 協議

○「令和6年度湯川村立小学校のあるべき姿検討委員会 報告書（案）」について

- ・委員長が座長となり協議に入った。
- ・まず、事務局より前回の第4回検討委員会での素案に対して、グループ討議による委員からの意見等を踏まえ、再度検討し内容を修正、追加した「報告書（案）」について説明した。

また、検討委員会の会議録については、報告書の資料として添付することになるが、発言について、委員の名前については表記しないものとし、委員長、副委員長については、役職名で表記したい旨説明し、委員の了承を得た。

○委員長

それではですね、皆様のご意見をいただきたいと思いますと思うのですが、前回のグループ討議を思い出しながら、今回の修正、追加した赤字の入った報告書案を見ながら、何かご意見がまたさらにあるようであれば述べていただければと思います。

一人ずつご意見をいただいきたいと思います。この内容で良ければ良いでいいと思いますので、率直に、ご感想でもいいですのご意見をいただければと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

・事務局

時間配分としては、各委員4分ほどでご意見をいただければと考えております。よろしいでしょうか？よろしくお願ひします。

・委員

特段はありませんけど、検討委員会をまた立ち上げられるということで、複式学級がすぐに迫っているということがあるので、検討委員会のほうは早急に立ち上げてもらって、早めに子どものために動いていただきたいなと思います。

・委員

私もですね、統合って決まったなら、なるべく早く子供たちが楽しく行ける学校を作っていただきたいと思います。

・委員

別に問題はないのですが、あっという間に5回の検討委員会が終わるようになって、結果的によければそれでよろしいのかなと思っております。

・委員

自分も特に意見等問題はなく、このままでいいと思います。これから子供たちが育っていくので、統合なら統合で、早く進めるような感じでいければ良いのかなと思います。

・委員長

まず、2P のインパクトの強い最初の出だしなのですが、どう考えても違くなって思うところは、「1学級当たりの人数も複式学級が出現する可能性」、さらに4Pで「両校に複式学級の出現する可能性」の部分にちょっと引っ掛かっていまして、複式学級が出現するから統合ではないと思うんですね。最終的には。この辺、あまりにも複式学級を強調しないほうがいいんじゃないかなと見ました。

たとえば1学級当たりの人数が減少の一途を辿っているとか、そういう言葉にしておいたほうが良い。このままでは、複式学級って悪いのか？という話が始まってしまう。まだまだ全国で複式学級がたくさんありますので、そういったところが一生懸命複式学級をどうしようかと考えている中で、うちの村が複式学級がダメだから統合するでは、理由にならないと思うので、どうかなと思いました。強調しないほうがいい感じがしました。

ただし、あるべき姿「学校規模」の報告での複式学級に係る内容はいいと思います。最初がインパクトが強くて、「え、複式学級ってダメなの？」と見られがちなので、考えたほうがいいんじゃないかと思います。前回欠席して申し訳ないのですが、この部分を感じましたのでよろしくお願いしたいと思います。

・副委員長

今回で第5回目の委員会ということで、これまで熟議を重ねてきたわけですが、だいたい意見が出そろったようで、本来の小学校のあるべき姿について検討しようという、初期の目標が達成されたのではないのかなと思います。本日の報告書案がありますけども、これに基づいて報告書を出していただいて、そして、次に進めていただければいいかなと思います。

また、あるべき姿がこういうふうな方向ですと、統合したほうがいいんじゃないかという意見だったということなので、その後は村当局のほうでもう一回検討していただいて、小学校を建てようか？となると思いますので、大体、私たちの役目としては終わったのかなと思います。ありがとうございました。

・委員

報告書ができたことは本当良かったなと思います。ある程度、検討委員会で議論した内容が盛り込まれているということで、これが提言なんだと思いますので、ここで議論をやってもしょうがないのかなと思いつつ、先ほど、委員長がおっしゃった複式学級の解消というところは、これがたとえば、教育委員から出るような文章で、多くの人たちが目にして、それを基に考えるのであれば、配慮も必要なのかなと思うのですが、あくまでもこれを基に、教育委員会に提言するものであるなので、あとは中身は教育委員会で揉んでもらって、この検討委員会の中

では、複式学級が出現するということに対しての懸念が多かったという意味で、ここで議論はしないですが、書いてもいいのかなと私は感じました。

もう一つ引っ掛かっているところは、5Pの「小学生3年生～6年生へのアンケート結果は2校存続を望む回答が53%を占めました。」というのはこれは数なのでいいのですが、『これは一般的に「子どもたちは現状維持を望む傾向がある」こと』というところなのですが、私として感じたのは、「現状維持を望む」というのが漠然としている。「多くの子どもは今の段階、大きな不安や不満を抱えることなく学校生活を送っていることが伺える。」という傾向にあるというところは分析としてあってもいいのかなという感じがいたします。現状維持を望む傾向というのがちょっと引っ掛かったので、何をもって現状維持なのか？1校が望ましいのか？2校が望ましいのか？というのを子供たちに問うて答えが出るとは思えない。そこまで答えを求めるのはどうかと思ったので、先ほど言いましたように、実際のところ今の現状としては、「多くの子どもは今の段階、大きな不安や不満を抱えることなく学校生活を送っていることが伺える。」という程度でもいいのかなという感じがいたしました。

内容的には、その他全体的に大変良くまとめられていますので、事務局のほうの労苦に感謝申し上げたいと思います。

・委員

私も会議の内容、皆さんの意見がいろいろ書いてあるので良いなと思います。結果的に小学校が統合するような方向で向かってますので、せっかく統合するのであれば、そのタイミングで、より良い学校にするために、他のすでに統合している良い学校のモデルをよく調査して、それを参考にしながら早めに進めていただきたいなと思います。

・委員

今まで皆さんがいろいろお話しされた方向と、私もほぼ同じで、それぞれの立場からいろいろご意見をいただいて、ひとつのこういう報告書になったというのは非常に喜ばしいことだと思います。こういう方向で決まったからには、意見が出てましたけども、やはり早く実現できるような取り組みを始めていただきたいということだと思います。

あと、意見の中にあつた、子どもたちは自分のちっちゃな時を振り返っても、やっぱり静かな環境とか友達と勉強できる今の環境を維持したいという気持ちがあるので、やはりその部分は維持してとか、静かに勉強できるとか今の環境の良さは生かすことを心掛けて、学校づくりをやっていただければと思います。

事務局の方は、大変ご苦労されながらまとめたと思いますので、本当にご苦労様でした。

・委員

先ほど委員長も言うておられましたが、複式学級だから統合だという意味ではないので、小規模校でも十分に学校教育がなされており、磐梯町第二小もそうですけども、賛否両論はいろいろありますが、複式学級だから統合しなければならないということではないと思うので、それイコールではないと思うので、もう少しニュアンスを変えていったほうが広がるかなと思います。小規模になれば小規模なりにいい意見もある訳ですから、その意見の人達も重視していかないとしょうがないと思いますし、3Pに検討結果とありますけども、賛成の方が76%とありますが、アンケートの対象者数と回答率も入れてもらいたいなと思います。100人のうちの76%かなと思ってしまうので、実質はそうではなくて、2,661人のアンケート対象者に対して回答率は29.6%なので、100人のうち76%ではないので、実際、村民の20数%しか統合を希望していないんだよという数字なので、回答率が30%未満ですから、村民全員に配付して回答を得たので、その29.6%という数字は入れなくてはいけないのかなと思います。

あと、5P一番下に「インクルーシブ教育を推進すること。」とありますけども、これも賛否

両論ありまして、「推進すること」と書いてしまうと特別支援学級はなくなるのか？と思われるすよね。そうではないと思うので、教育委員会が特別支援学級は無くすんだよという考えであるんならば、それはそれでいいんですけども、やっぱり「インクルーシブ教育を推進すること。」っていうよりも「協議する」か「考慮する」かという優しい文言かなと思うんですが、教育長どうでしょうか？

○教育長

極端な見方をすればそういうふうになっちゃうかもしれないので、「特別支援教育並びに」みたいな感じだといいのかなと思います。

・委員

もっと優しくしていかないと、新しく小学校を統合した場合には特別支援学級を無くすのかなと思ってしまいますよね。「推進すること」となってしまうと。もう少しやわらかい言葉で返事していかないとしょうがないかなと思います。教育長が、インクルーシブ教育を推進するんだよということであればこれでいいですが。私は、インクルーシブ教育の推進派なんですけども。

○教育長

どちらも大事だと思っています。

・委員

私もどちらも大事だと思っているので、それを「推進すること」と書きちゃうと、ちょっと偏るかなと思うので、この文言は変えた方がいいかなと思います。

あと、7Pですが「新たな委員会の立ち上げ」とありますが、また、新たな委員会を立ち上げるのですか？教育委員会の中で立ち上げるのですか？

・事務局

前回の会議で、今後も様々な課題について検討していく必要があるのではないかという意見があったので、追加記載しているのですが、その部分は、教育委員会で今後どのような形で進めるか検討していく予定です。

・委員

いままで3年間、「あり方を聞く会」を2年開催し、今年度「検討委員会」を開催してきている。また1年検討していくのですか？あと、この上は、教育委員会なり、議会なりで検討する話ではないか？いつまでも同じ話ですよ。

・事務局

これからは、どのような学校を建設するか内容を検討する形となります。

・委員

教育委員会と並行して議論を進めるのであればいいが、新たな委員会を立ち上げるというのはどういうことか？同じような委員会であれば、また、1年、2年、時間が経過してしまうのではないですか？この委員会の結果を第6次振興計画に載せるんですよね？これからの検討委員会が必要なのか？

・事務局

報告書を提出いただいた後、教育委員会で、「小学校の整備に向けた基本方針」を策定する流

れが必要となります。教育委員会で基本方針を策定した後、できれば来年度の村政座談会で、村民の皆様説明できればと考えています。その後に、小学校の統合に向けた建設検討委員会等を立ち上げ、どのような統合小学校を整備するか、有識者の意見を聞くことが必要かと考えています。

・委員

その委員会には教育委員も入って検討するのですか？それとも、教育委員は入らないでこういう方々を選任した委員会で検討するのですか？

・事務局

今後の進め方については、教育委員会で協議のうえ計画していきます。例えば、どこの場所に建設するか等、教育委員会でまとめた建設計画案について、有識者の方の意見等をお聞きしながら進める予定です。

・委員

これまで、「小学校のあり方について意見を聞く会」の組織から、3年間議論をしてきている。これからも進まないのでは？ と思ってしまう。

・委員

前の「小学校のあり方について意見を聞く会」での2年間は、統合についての議論ではなく広く意見を聞く内容だった。今年度の委員会で、統合のについての議論があり、流れができた。

・委員長

結局、この会で方向付けを決めますね。この会はその方向付けで終わりです。この報告を、教育委員会、村当局に全部投げます。後は、我々が決めることではないので、教育委員会が決定していくことになります。これから統合するのであれば、検討委員会ではなくて、「統合準備委員会」となります。

・事務局

そのとおりです。

・委員

みんな言っているのは、前に進める委員会で早く検討してということです。

・委員

そうであればいいですが。

この後、適正規模適正配置委員会等を教育委員会で組織して、すぐに検討していくものと思っていた。検討委員会と文言があると、また、同じように検討していくのかと思ってしまう。

・事務局

ご意見のとおりです。表現が良くないので修正したいと思います。

・委員

特に報告書の方で意見はないですが、お話があったように話しあいばかりにならないで、期日を決めていただいて進めていただければと思います。私もこれから小学校に上がる子供が

いてとても不安な部分も多いので、このような話し合いばかりでなく、確実な期日を決めて進めていただければと思います。

・委員

特にはないんですが、早く進めていただければと思います。

事務局が、欠席した委員からの意見書を読み上げた。

・教育長

それでは、意見書の「Ⅱ 1（5）2校存続を希望する子どもたちの気持ちの重視」の部分なんですが、まず、ひとつ、さきほど委員からあったように、「現状維持を望む」部分、そう言った言い方ではなくて、さっきいただいた文言に修正させていただきたいと思っています。それと赤い字の「先生方には～」の部分で、「その対応を現場の先生方に任せるような文言は、検討委員会として申し上げるのは適当ではない」と指摘されてらっしゃるのだと思います。確かにこの3行だけだと、何か教育委員会として責任逃れをしているという捉え方をされてしまう恐れもあるなと思います。この部分については、教育委員会としてどうするという部分を付け足すような形で文言を変えていきたい。先生達の学級経営力とか授業力とか、その向上のために教育委員会として、こんなふうに取り組んでいくよという部分を付け足すような感じで修正していく。そんな感じだとどうかなと今思っているところです。

前回もお話ししましたが、子どもたちが現状維持を望むのが半数以上だから統合しないのかとか、数字だけで判断していく訳ではないということ。子どもたち、「先生にたくさん教えてもらえる」とか、「落ち着いた環境で」とか、という答えがもちろんありますが、なかにはそればかりではなくて、やっぱり、新しい友達づくり、関係づくりの部分での不安を抱えている子どもたちも多分少なからずいるだろうと、今の学校がいいとかそういった答えをした子もいるものですから、そういった部分では、子どもたちが友達づくりがスムーズにいくような、先生たちの指導援助、それから、子どもたちのスキルの向上、そういった事を大事に取り組んでいかなければいけないなと思っています。そのような事を付け加えながら、報告書を完成できればいいのかなと思っています。

◎委員長

それでは、皆さんからいろいろご意見をいただいたのですが、とにかく、統合という方向付けをしましたので、今後は、この会としては、より早くですね、進めていくことを願いたいと思っています。

その中では、やっぱり先程から検討委員会とかありましたが、統合を実現した市町村のモデルを参考にしたり、実地調査に行ってみたり、研究してみたりということで進めていくことが大切じゃないかなと思います。そして、良さを活かして学校づくりを考えていく必要があるんじゃないかなということ。

あとは、アンケートについては、データの取り上げ方ですね。数値とかを出していけば、少ないから信頼性が低いということであれば、逆に、数値を出して信頼性を高めても面白いんじゃないかなという考えを私は思っているんですが。少ないから「信頼性がない、信頼性がない」と言われてますが、信頼性を勝ち得るために、数値をきちっと示したほうがいいんじゃないかなという考えもあります。どういうふうに取り上げていか考えていきたいと思うんですが。

あとは、インクルーシブの取り組み方ですね。これは表現の仕方ね。この辺もうちょっと柔軟にあげていくことが必要ではないかなと思います。

あとは、計画ですね。スケジュール良くたてて、教育委員会の方におまかせになってしまうのですが、ひとつ、よろしくお願ひしたいと思っています。

まとめにはならないんですが、統合という方向が決まったということは、すごく良かったかなと思います。いつまでもいつまでも、どうすんだどうすんだ、という形じゃなくて、統合が皆さんがいいということが決まったことは、すごく良かったかなと思いますので、そんなことでまとめにしたいのですが、どうでしょうか？事務局の方でもよろしいですか？

事務局

委員長ありがとうございます。

これからの進め方という部分なんですけど、皆様から統合という話をいただいて、早く進めるべきだという話もございました。報告書案ということで、最終のこの委員会でご意見いただいておりますが、委員長さんと副委員長さんに、本日の議論を含める形で、ご意見を反映する形で最終的に報告書のまとめをお願いすることで策定できればと思っております。最終策定した案を委員皆様に配付いたしますので、その後に、正式に報告書を教育委員会に提出という流れで進めさせていただければと思います。このように進めることでよろしいか、委員皆様へのご提案でございます。

委員長

このようなことで皆さんよろしいですか？

※委員了承

委員長

それでは、教育委員会で大変でしょうがひとつよろしくお願いしたいと思います。

だいたいまとまりましたので、最後、教育長からお話しいただければと思いますので、よろしくお願いします。

教育長

7月末の第1回検討委員会から始まりまして、今日まで5回、年末の押し迫った時期までお集まりいただきましてありがとうございました。本当に皆さんには、丁寧に熱心に協議いただいたおかげで、きちんとまとまった報告書にさせていただけるのかなと思ってます。私から村長に報告しますが、村長も一安心で喜ぶことだろうなと思います。本当にありがとうございました。なお、これからもいろいろなこと出てくるかもしれませんが、いつでも気軽にご意見頂戴できればありがたいなと思ってます。本当にありがとうございました。お世話様でした。

(3) その他

○諸連絡

事務局が今後のスケジュールを説明した。

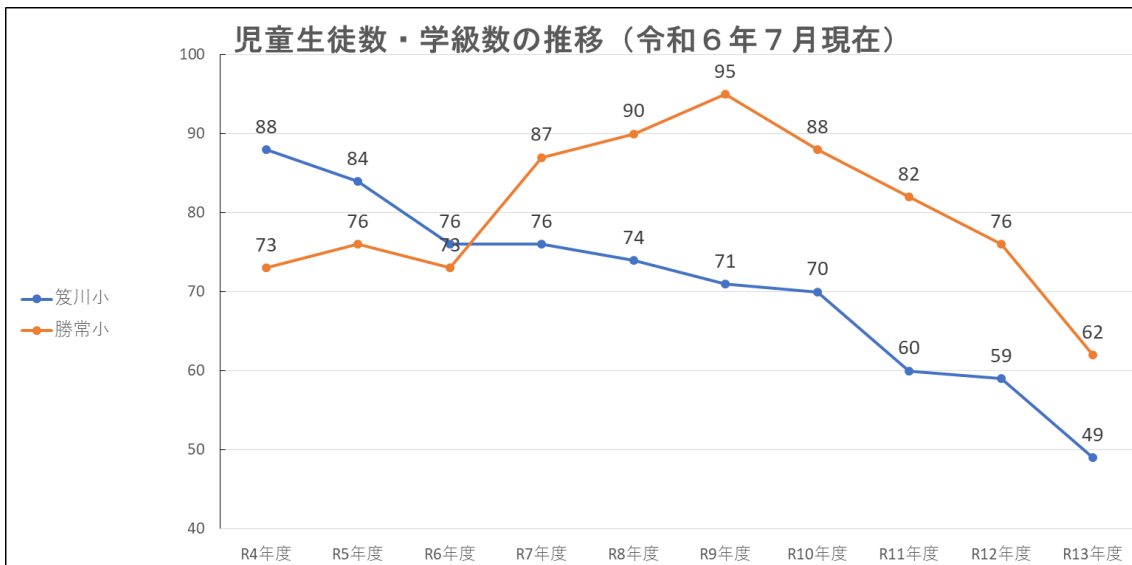
- ・ 1月上旬の教育委員会定例会で教育委員へ進捗状況を説明する。
- ・ 1月中旬には、教育長へ提出したい。
- ・ 2月上旬までに、村長、議会議員にご説明したい。
- ・ 教育委員会で「整備方針」策定を早急に進めていく。

6 閉会

事務局が第5回委員会を閉会した。

〈閉会 19:25〉

○児童生徒数・学級数の推移



		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
筈川小	1年	11	15	10	12	13	9	11	5	9	2
	2年	14	11	15	10	12	13	9	11	5	9
	3年	15	14	11	15	10	12	13	9	11	5
	4年	13	15	12	11	15	10	12	13	9	11
	5年	14	12	15	12	11	15	10	12	13	9
	6年	18	15	12	15	12	11	15	10	12	13
	特別支援	3	2	1	1	1	1	0	0	0	0
	小計	88	84	76	76	74	71	70	60	59	49
勝常小	1年	13	14	14	20	17	14	7	9	9	6
	2年	9	13	14	14	20	17	14	7	9	9
	3年	15	9	13	14	14	20	17	14	7	9
	4年	6	15	9	13	14	14	20	17	14	7
	5年	16	6	14	9	13	14	14	20	17	14
	6年	11	16	6	14	9	13	14	14	20	17
	特別支援	3	3	3	3	3	3	2	1	0	0
	小計	73	76	73	87	90	95	88	82	76	62

○学校施設の建設状況

(1) 筈川小学校

校舎	昭和53年建設	45年経過（平成22年耐震工事）
体育館	昭和40年建設	58年経過（平成21年耐震工事）
プール	昭和50年建設	48年経過（令和6年改修工事予定）

(2) 勝常小学校

校舎	昭和54年建設	44年経過（平成22年耐震工事）
体育館	昭和63年建設	36年経過
プール	昭和49年建設	49年経過（令和6年改修工事予定）

湯川村の小学校の「あるべき姿」についてのアンケート集計結果

アンケート実施期間 令和6年9月27日～10月15日

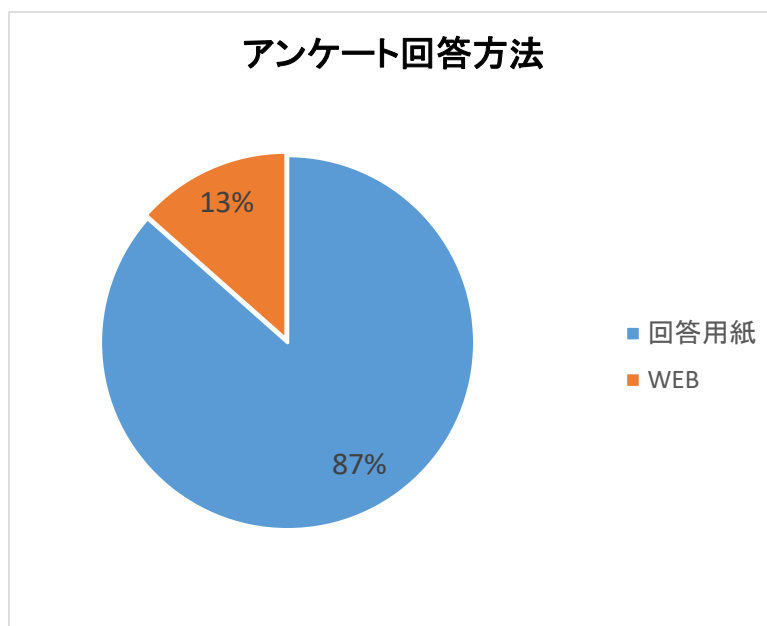
アンケート対象者数 2,661人

回答者数 788人

回答率 29.6%

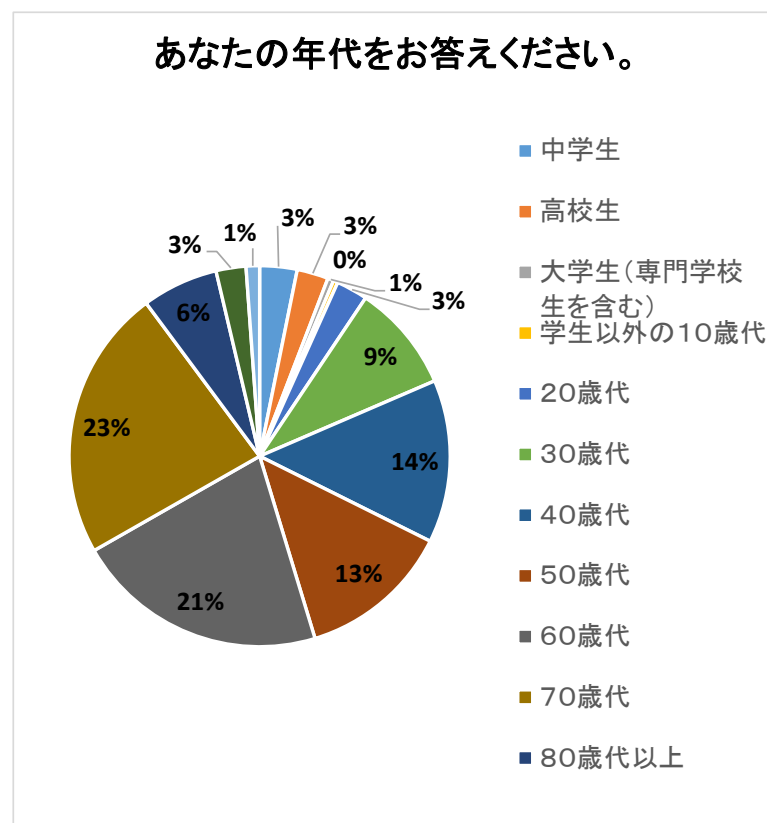
アンケート回答方法

	人数
回答用紙	682
WEB	106
計	788



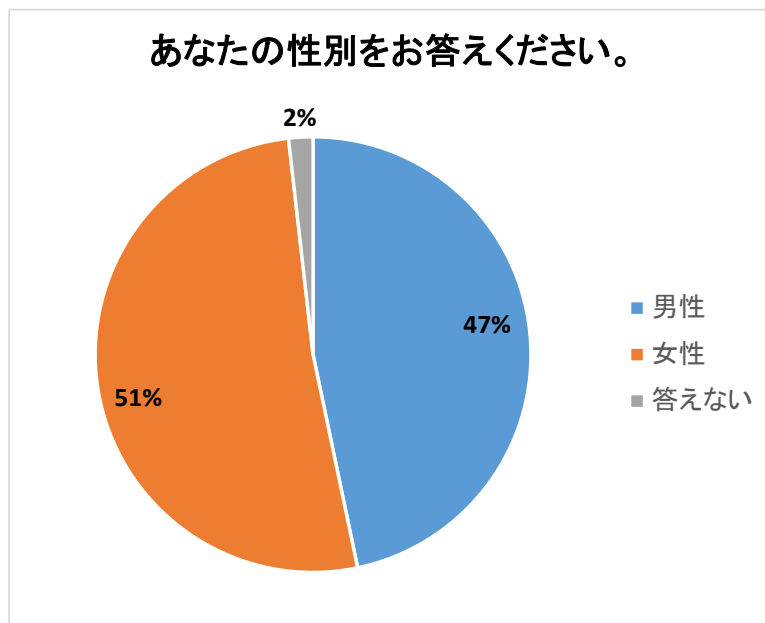
1① あなたの年代をお答えください。

	人数
中学生	25
高校生	21
大学生(専門学校生を含む)	4
学生以外の10歳代	3
20歳代	21
30歳代	72
40歳代	109
50歳代	102
60歳代	169
70歳代	182
80歳代以上	51
一般(年齢未回答)	20
答えない	9
計	788



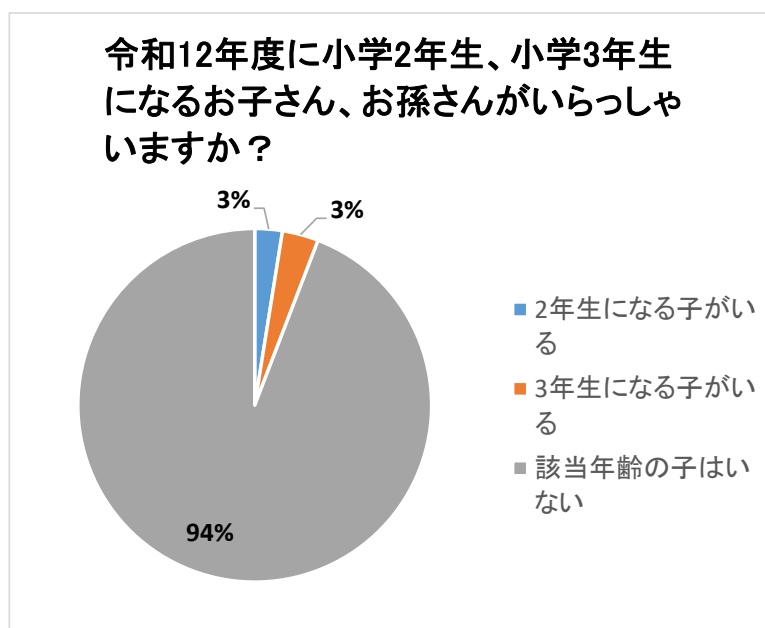
1② あなたの性別をお答えください。

	人数
男性	363
女性	400
答えない	14
計	777



1③ 令和12年度に小学2年生、小学3年生になるお子さん、お孫さんがいらっしゃいますか？

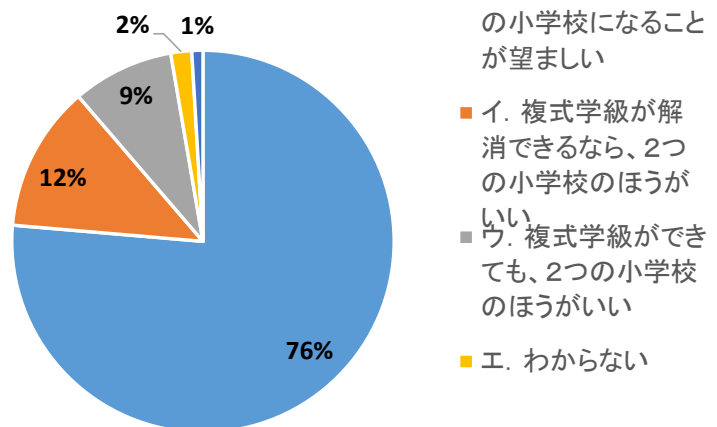
	人数
2年生になる子がいる	19
3年生になる子がいる	25
該当年齢の子はいない	710
計	754



2 笈川・勝常の2つの小学校が統合して1つの小学校になることが望ましいか、2つの学校のまま存続することが望ましいか？

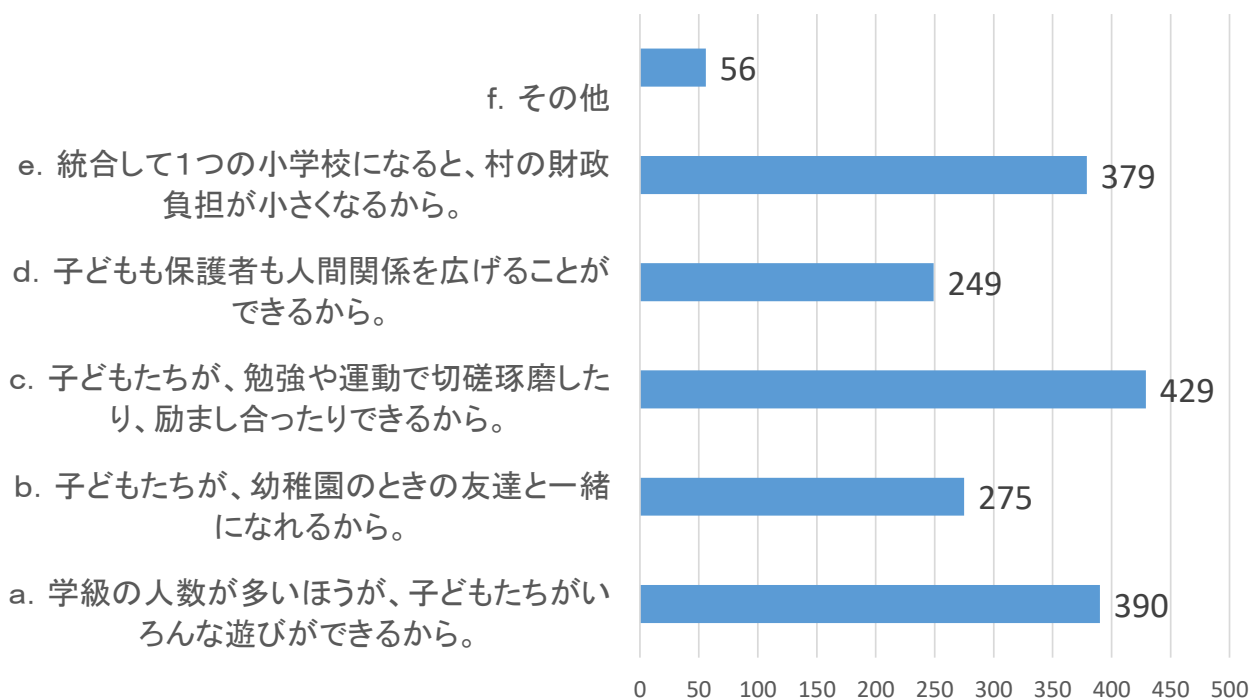
	人数
ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい	649
イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい	105
ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい	73
エ. わからない	15
答えない	8
計	850

統合して1つの小学校になることが望ましいか、2つの学校のまま存続することが望ましいか？



「ア」を選択した理由

「ア」を選択した理由

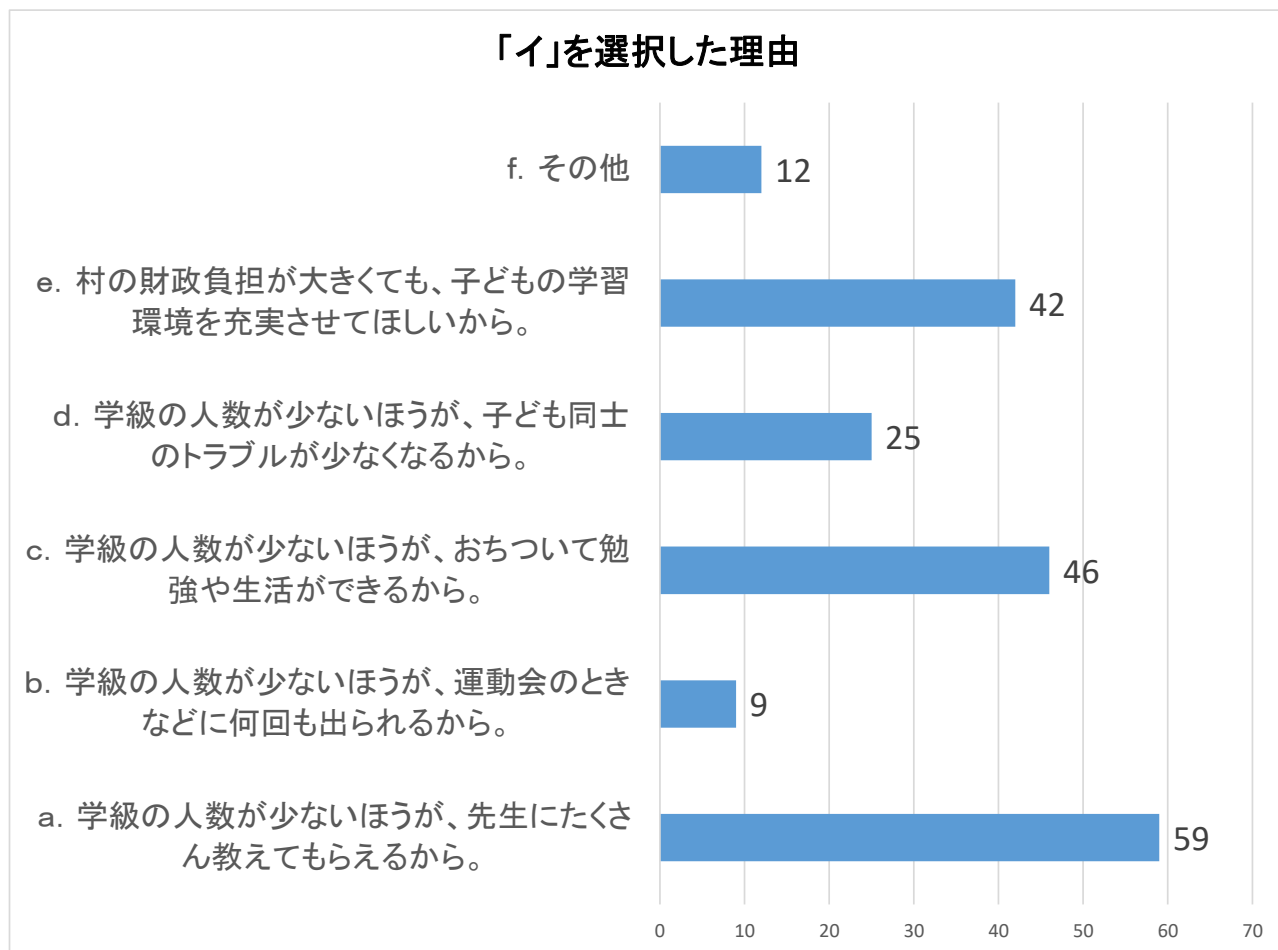


■「f. その他」の理由

- ・PTAの負担を考えても親の数ほしい
- ・保護者のPTA負担が減らせるから。人数が少ない学年では高学年になった時のPTAの本部役員、学年委員と全員の毎年の負担が大き過ぎる。別学年に兄妹がいればもっと負担が大きくなる。
- ・中学校の校舎をうまく利用すれば、登下校の安全面は確保できるのではないかと思います。
- ・大切な6年間に多くの友達にふれあってほしい
- ・小学校のみ分かれる環境に常々違和感があります。この小学校6年間という時間は心と体が急成長する大切な時間ですので、より多くのふれあいが大切と思っています。
- ・多くの友と一緒にの方が社会性が広がる
- ・学校の件で佐野は、坂下町へ。常にバスが通るから歩くことない。冬も車です。
- ・発達障害の子の教室が一方にしかないので統合すれば一つでよいと思います。
- ・統合しても、大人数のクラスにはならない。
- ・両小学校の老朽化や子どもの減少などからその場に合った環境づくりが必要かと思っています。
- ・児童数が多いためできない行事というのは少ないが児童数が少なくてできない行事がふえる
- ・表面の表の中にある「デメリット」がイ、ウの意見に比べて圧倒的に少なかったから。
- ・複式学級は反対であり、世の中の流れが統合かと考えるので
- ・保育所、幼稚園、中学校が統合しているのに小学校も統合が望ましい
- ・保育所、幼稚園、中学校が1つなのに何故小学校だけが分かれるのか疑問である。
- ・財政負担のことを考えるとすれば、一から建設するではなく既存の建物を最大限利用。又は、村の生活・活力の場として再利用して活かしてほしい。今の小学校の建物が残れば良いと思う。ただ、維持費用もあるので何とも言えないのですが。
- ・スクールバスが必要と思う
- ・生徒数がないのに、必要経費ばかりかかってしまう。削れるところは削り、使わなくてはいけない所に使う！
- ・中学生も1校で、小学校も1校で、何かダメですか!?スクールバス等でカバーすれば良いのでは!?2校分の経費を考えたら可能かと思うが…
- ・小数児になる事が分かっているのだから、校舎もいずれ建て替えなければならないとなれば少しずつでも村の負担を少なく。勉学に望ましい校舎にするべし。
- ・学習環境が良くなると思う
- ・中学校でまた一緒になるので
- ・学級の人数の方が少ないほうが先生にたくさん教えてもらえると思っていたが、期待外れの事が多い。教えてもらえない事の方が多いのが現状です。
- ・多いほうが学校に行った時に良いと思う。
- ・eは間接的に増えると思う(通学方法、2つの学校の保存)
- ・人口も少なくなり長い目で見ると税収入も減るのではないかと心配しました。
- ・自分も小学校1・2年で複式学級だったから
- ・団体生活の中で協調性を身につける可能性がある。
- ・幼稚園、中学と笈川、勝常が統合となっているのだから、小学校も統合されても問題はあまり大きくないのではないと思う。
- ・小学校だけ笈川・勝常と別れている意味がわからない。
- ・笈川地区・勝常地区という狭い意識がなくなる。選挙の投票所や議員活動又、工場や住宅の誘致などにおける弊害がなくなる。
- ・子どもの数が少ないのだからしかたない。ぜひ安全のためにスクールバスにしてほしい。
- ・しかたないだろう
- ・児童数の推移を見ても早めの統合が望ましいと思う

- ・小学校だけ離れるのはおかしい
- ・子どもの選択肢(学業、運動、遊び等々)が増える。
- ・勝常、笈川小学校はなくす
- ・PTA活動の保護者負担が軽減できるため
- ・人数も少ないのに学校が2つはいらない
- ・幼稚園も中学校も統合されているのだから、小学校も統合されるのが望ましいと思います。
- ・将来を考えれば当然のこと
- ・どう考えても少子化すぎてまとめざるをえない。
- ・小学校の6年間のブランクは大きく感じる。2校が中学校で一緒になり、中学校に上がった時に不登校が増えてる原因にもなってる気がする。
- ・認定こども園、義務教育学校、児童クラブの三位一体の教育改革を進めていくための戦略の前後として両小学校の統合を進めることが望ましいから。上記の戦略を推し進めて中で、複式学級の回避は単なる結果にすぎない。複式学級を一時的に回避しても将来…そのため戦略がもためられている。
- ・双葉地方の校舎のような建物でもう一度勉強したいと思うから。
- ・そもそも2つあわせてもそんな子どもの数いないのでは？
- ・成長発達段階にある子供たちの優位な個性の発見と助長ができるから。
- ・人間形成の基礎をひとりでも多く友だちと学び、感性を豊かに成長できるから。
- ・幼稚園、小学校、中学校同じ方が良いように見える。
- ・協力的な学習ができ、様々な考えにふれることができる。発達段階が同じ仲間とひとつのものを協力して行ったり作りあげたりする喜びを感じることができる。
- ・前ページのメリットとデメリットの比較でデメリットが1つで少なく、その対策は通学バスを使用することで解決できと思う。他の市町村では実行しているから。
- ・学校行事等が1回になるので、2度でまがなくなる。入学式、卒園式、来賓挨拶等も。
- ・地域が1つの自治体としてまとまっていく可能性が大きいと思う。勝常と笈川の対立や隔たりを解消し、共生していくと考える。
- ・湯川村になった時に統合すべきだった。
- ・財政負担が少なくなる分、村民に還元してください。
- ・役員をやる回数が減るから。保護者の負担も少なくなる
- ・子供に、笈川地区、勝常地区という、古い概念を子供世代からなくすことができると思う。
- ・余った予算で、児童への個別対応するための職員を雇うことができる。
- ・笈川だ勝常だと言っている時でもないと思います。統合して新たな湯川の小学校を目指すべきではないでしょうか。子供達が可哀想です。
- ・PTA活動の負担が減る
- ・湯川村の面積と児童数を考えれば、小学校は1つであって当然。
- ・PTA役員の回数が減り保護者の負担が減るから。体育の授業でサッカーやドッジボールなど人数が必要な競技も出来るようになるから。小学校を統合して放課後児童クラブも校内に併設することが望ましいと思うから。
- ・保育所、幼稚園、中学校は一つなのに、小学校だけ2ただあるのは非効率
- ・PTAや各種委員会、奉仕作業、各種行事の保護者の負担を減らすことができる。

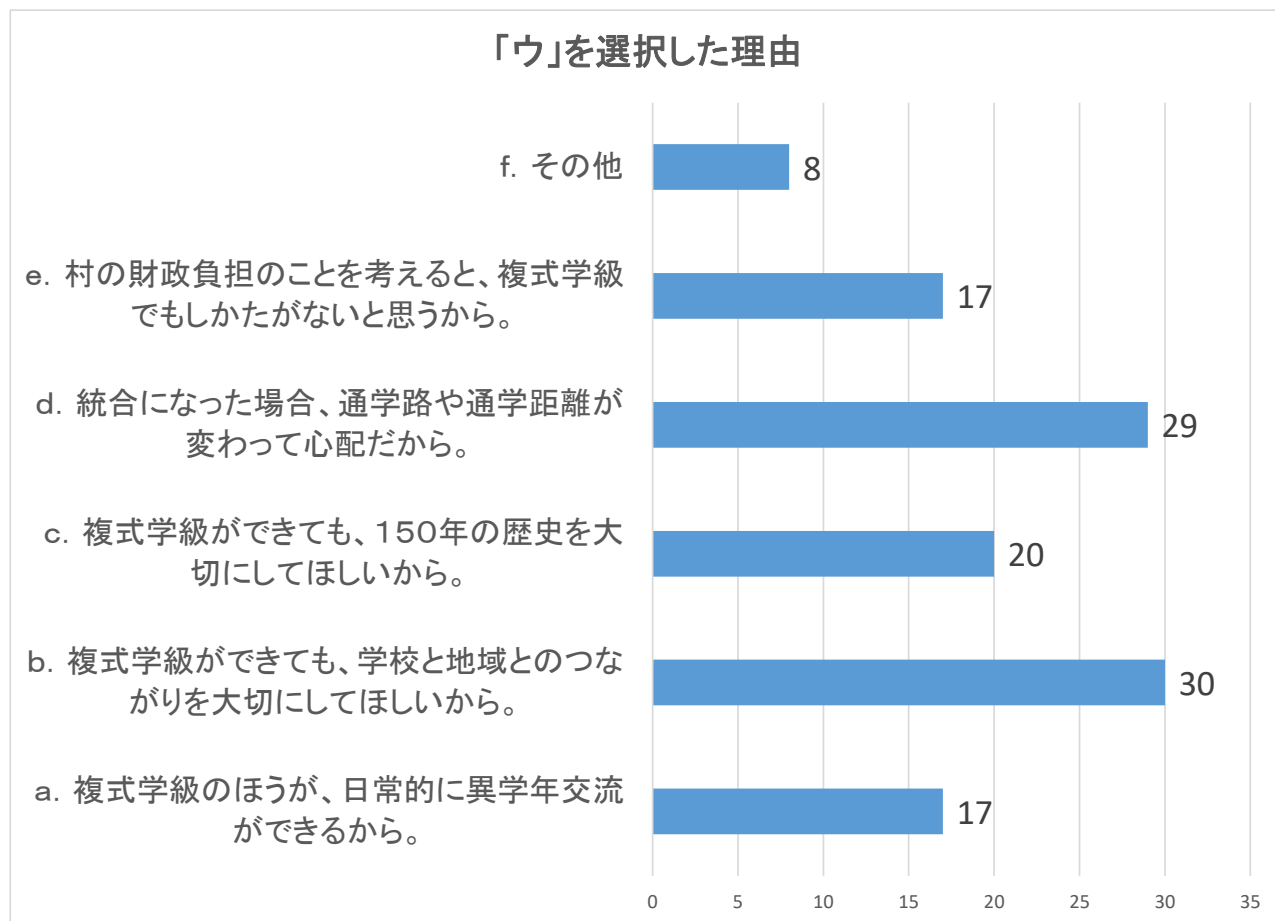
「イ」を選択した理由



■「f. その他」の理由

- ・今のままだいいから
- ・どちらの学校になるかで登校の負担が大きいから。
- ・学校が近い
- ・統合
- ・統合すべき
- ・地域に子どもの声が聞こえる環境が望ましい
- ・小1から中3まで9年間同じ人間関係より、中1で新しい人間関係を築けるから
- ・複式の解消ができなくても2つの小学校のほうがいい。通学距離が長くなり、マイクロバスの運行が必要となるので2つの小学校のままでよいと思う。
- ・子どもの年齢によって複式学級でない方がいい。高学年になってくると先生のいない所でいじめなどがおこりやすいと思う。
- ・何年か前に一学級20人以内が望ましい旨の記事があり、当時の米国では一学級15人だった様に受けています。一人の先生の指導能力だから。
- ・通学距離も長くなる子が出てくるので
- ・農村留学等で児童を増やす

「ウ」を選択した理由



■「f. その他」の理由

- ・小学校の統合は早い。プールは村民使用できるよう新設する
- ・1つの学校の児童数は最低何名とみているのか？
- ・子ども達をスクールバスにしたほうが良いと思います。
- ・子どもたちにはしっかり学習してほしいと思うし、教師も1人1人によく目配り、気配りできるだろうと思うから。
- ・複式学級が増えるようであれば統合しても良いと思いますが、できるところまで2校であってほしいです。
- ・少人数の複式学級だと子どもたち一人一人に教員が深いかわりを持ち、一人一人を大切にしたい教育ができるから。子ども同士が支え合い成長できる。
- ・各校の地域の意識が違い過ぎる
- ・関係性が限定されすぎないことと、子どもたちの登下校時の負担が少なく済むことが両立できることが大きいと思うから。

「エ」を選択した理由

■「エ. わからない」の理由

- ・一長一短がある。小学校時代は余りに昔のことでイメージがわからない。
- ・地区の消滅は学校がポイントと狙う。しかし少子化は進む学年10人以下4～5人を考えると先生の定数等十分な教育が可能なのか悩ましい。
- ・上のような事情が無かったし、小中学生が何年もいなかったの
- ・子どものことはいないのでわからない
- ・高齢になり、小学校についての状況がよくわからない為。
- ・地区の人間関係が悪いので同じ学校は望まない。転出する人が多く出ると思います。
- ・どちらをとっても善し悪しがある為決めきれない
- ・1校へするにはどこへ持ってくるか、またはその財政とかいろいろ問題が発生する。通学にはスクールバスが必要になったり…etc問題点を1つ1つ上げてどう解決していくか、その先には1つの学校に至るのでは!?
- ・二者択一を迫るアンケートの様で回答が難しい。人口対策(村政方針)は諦めたということかな? 村民の声を拾い集めるのは議員様の仕事では?
- ・学年や学級の人数が多くなるのも子どもにとってプラスになるし、(統合)先生に手をかけてもらえるのもプラスな気もするので。(複式)
- ・両校の施設がこの先何年大丈夫なのか分からない。
- ・どちらでもよい
- ・人数が少なくなるのはわかるけど、統合になると保育所～中学校まで同じ人で子ども達は思うのかなと思います。
- ・統合なら送迎環境が絶対条件
- ・よくわからないがひとつの小学校にする。ひとつの校舎を存続させてもうひとつを廃校にする。
- ・統合する場合の場所の問題、統合後の両小学校をどうするのか。複式学級が一時的であれば統合の必要性はない。何が問題なのかを明確にされていないと統合は不可能だと思う
- ・現状がわからない

○ 将来の湯川村の小学校についてのご意見や願い(理想像のイメージなど)がございましたら、下にお書きください。

(1)アンケート項目 2で「ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい」を選択された方のご意見や願いについて(概要)

【登下校に関する不安(スクールバスの検討)】 40件

- ・統合となれば通学距離が遠くなる事もあるため、通学バスの運行など、子どもが安全に通えるような対策をお願いしたい。子どもを育てやすい湯川村であってほしいと願う。
- ・統合の小学校がどこにできるかわからないが、遠い地区から通う子どもに関しては、スクールバスが利用できるようにしてほしいと思う。
- ・悪天候や、1人下校時の防犯対策としても、一時的なスクールバスのような取組ができれば安心できると思う。
- ・村所有のバスを導入し安全確保、運転手は村内より数人、契約形態を分けて募集
- ・小学校を統合し、通学距離が長くなる地区には通園バスを上手に利用しバス通学とする。

【小学校と中学校の統合】 23件

- ・小中一貫校になるのも良い。
- ・他の自治体のように、小・中学校一緒に学園にしてもいいのかと思う。小・中学校それぞれの人数も少ないので。
- ・幼、保、小、中の一貫教育を目指したらどうか
- ・小・中学校を一ヶ所に集め、プール、体育館、図書館などを減らしサービスをUPさせる。
- ・小中一貫校的な教育をしてほしいと思います。校舎が同じ場所でもなく、目標を共有した統一した教育をしてほしいと思います。

【地区にとらわれない学校】 13件

- ・小さな村なのでから統合することによって児童も笈川、勝常という地圧を超えて友達の輪が広がってくれることを願っています。
- ・笈川・勝常の壁もなく湯川の子として自覚し成長できればと思います。
- ・勝常、笈川といった地区にとらわれない湯川村としての一つの学校として発展、教育して欲しい。
- ・笈川、勝常どちらも「おらが学校」の我欲を捨て、未来を担う子ども達のことを一番に捉えることが必要
- ・勝常笈川関係なく湯川村の伝統を守る子どもが育つよう教育してほしい

【将来の学校像】 29件

- ・人数が多くても「一人一人を大切にする」学校にしてほしい。
- ・学校の方から歌声や笑い声や大きな声が聞こえるような明るい村にしたい。
- ・小学生時代は、人間として生きて行く上で、非常に大切な時期だと思います。あせらず、じっくり、自分らしく成長できる学校であってほしいと思います。
- ・湯川村の学校だからこそできることがあると思う。子どもたちが大きくなってもお互いを助け合っていくことができる友達、環境を作ってほしい。
- ・人数が少なくても、閉鎖的ではなく明るくオープンな学校、クラスで伸び伸びと育てほしい。
- ・世間に学校の名前が知られる様になれば…。(スポーツ、能力(勉強の成績、特技)を活かした学校としての特徴)※先生から見た考え方を記載してほしい。例に人が増えると指導力が下がる等
- ・住んでいることに誇りをもてるような子ども(郷土愛)自分の目標を目指してがんばる子ども。
- ・湯川村に関心を大人になっても持ち続ける人になる教育を期待します。

【財政面へ心配】 11件

- ・新しい小学校でなく、既存の小学校を作って欲しい。
- ・空き教室が多くなる「校舎」は本当に必要だろうか？移動教室のように体育館で村の施設は利用できないか？
- ・少子化や財政を考慮し、笈川、勝常のどちらかの校舎を利用して1つに統合が望ましいと考える。使用しない校舎は、コミュニティ施設等への利用するなど。
- ・いろいろ老朽化してるので早急に統合して、無駄なお金を使わないようにしてください。
- ・小学校を統合して村の財政負担が小さくなった場合には、その分を子ども達や先生方、学校の運営維持に還元してほしい。(子どもたちが色々な遊びができる施設、教員の人員と質の確保など)
- ・小学校2校の運営や維持管理にかかる費用を、1校に集中した方がいいと思う。
- ・財政のことを考えると早く統合して方がいい。

(2) アンケート項目 2で「イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい」を選択された方のご意見や願いについて

- ・現在それぞれの小学校の伝統やよい所がなくなるのはとても悲しいです。村の人口が増えるよう村の対策を考えてほしいと思います。
- ・現実的には将来に向け人口は減少(子どもの数も)していくが、村として子育て世代が増え、学校が2校存続できる施策をとってほしい。
- ・月並みだけど人口増加の取組強化
- ・将来的には統合も仕方ないかと思いますが、現状では統合の必要はないと思います。令和12年、令和13年に各小学校ともギリギリで複式学級になる見込みですが、ギリギリの場合は県の予算で教員が1名配置されるはずなので、村の負担にはならないと思います。(講師の先生が見つければ)やはり、小学生のうちには少人数で先生にしっかりと見てもらい、基礎・基本を指導していただいた方が親としては有難いです。1番は、これまで村が人口減少や少子高齢化対策として取り組んできたように、勝常地区と笈川地区、交互に新興住宅(新しい部落)をつくっていき、児童の人数が現状程度で推移していければと願っています。もしそれが不可能で児童の人数が減り、どの学年も完全複式になるような場合は、統合も仕方ないと思います。
- ・子育てに特化した村づくりをしていけば、湯川村で子育てをしたい人が集まり、複式学級は回避出来るのではないかな。
- ・子どもの人数が減少しても、大切な小学校生活を楽しく有意義に送ってもらいたい。歩いて登校し、季節の草花や山々を感じながら成長してほしい！
- ・校舎が古くてかわいそうなので建て替えてあげてほしい
- ・統合するのは時代の流れ。ただ現在の両校はどうするのか、地域住民に納得できる説明をしてほしい。
- ・多すぎても少なすぎても、クラスは歪つになる気がします。自分は1クラス24名学級でしたが、ちょうどよかったと思っています。
- ・統合せずに、子どもの声が響く地域環境を作してほしい
- ・小学校が一番、学習面、人間関係等基礎になる部分を教えていただける所なので、少人数の方が極め細やかな指導をしていただけたらと思います。
- ・村民や児童を増やす為に新興住宅地を作ると思われるが、治安等悪くさせないで欲しい。若年層のみではダメだと思う。しっかり見極めて欲しい！色々問題がおこらないようにして。
- ・子ども達が明るく、生き生きと小学校に通える環境にしていきたいと思います。
- ・今後、少子高齢化がますます進むことは明白なので、登下校時の安全面等の問題がクリアされた時には、統合してほしいと思っています。
- ・30代の先生を多く配置してください。
- ・班長さんとうしろの子たちの距離が離れていて、心配なのでどうにかしてほしい。
- ・統合のアンケートを取りながら プールの修理をすることは 納得がいけない。修理費用予算が有るなら プール時期をずらして河東学園プールの利用すれば良い！ 百歩譲ってプールの統一は直ぐにでも出来るのに修理をしているのが理

(3) アンケート項目 2で「ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうが良い」を選択された方のご意見や願いについて

- ・村として、もっと子どもが増えるような対応を展開してほしい。穂花のような田地をもっとつくってはどうか。
- ・宅地を増やし、移住者を多くし、子どもが増える状況又は、子育てに優しい環境作りが必要なのでは？
- ・地域の人も、日常的に子どもに関われ、地域全体で子どもを育てて行くイメージ。子ども達と一緒に学びたい時には授業にも参加できるようなら楽しいだろうと思う。担当者の方々、何とかいい方向で進めて下さい。
- ・出来れば登下校の子どもを「いってらっしゃい。おかえり。」とむかえてあげたい。
- ・地域の学校がなくなことは地域の衰退にもつながる。学校があって人が(大人も子どもも)集まることできる。このアンケートは設問が統合ありきの内容に思える
- ・近年の温度化に伴い空調の整った環境での教育(すでに実現していれば嬉しいです)
- ・現在のままで各校の交流を増やして欲しい

(4) アンケート項目 2で「エ. わからない」を選択された方のご意見や願いについて

- ・小学校の統合を考えているのなら思い切って小中一貫校を目指すべきだろう。規模的には理想的だと思う。
- ・コンクリート2〜3階はいらない。木造の平家が理想(コンパクト)2つ存続ならAIを活用して学びの空間を広げ2つの学校が1人の教師も可能か。リモートをみずえ首都圏の学びも取り入れる。小中一貫校を見据えて工程表を作成する(数年かけて)。見取り図等も...
- ・人数が少ない割には、学力・運動能力が低い。先生方の取り組みなのか、教育委員会の取り組みなのか分からないが、もっと高い目標を持って運営していただきたい。
小中一貫ではないが、繋がりのある形を構築していただきたい。
- ・少子化のため、登下校の時、1人で行動するようになると思うので送迎用のバスなどがあれば安心できる
- ・美田園地区の第二次計画の実施や人口増の政策はどうなのか？
- ・優秀な先生をたくさん集めてほしい

(5) アンケート項目 2で「答えない(無回答)」を選択された方のご意見や願いについて

- ・①住民(保護者)の意見優先②財政上の判断

○ 将来の湯川村の小学校についてのご意見や願い(理想像のイメージなど)がございましたら、下にお書きください。

(1) アンケート項目 2で「ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい」を選択された方のご意見や願いについて

- ・子どもの数とトラブルの数に関係はあまりないと思う。親や子の気質だと思うので、よそからの転入者が増えれば、都度対応していかなければならないと思う。
- ・笈川小側には、サッカーグラウンドがあり何かと使用できるのではと考える。どちらの小学校に統合となったとしても、スクールバス(遠い地区)の利用も考えていく必要があるのかなと思います。中学校近くに小学校が建つならお良いですが、プールは小学校用で使えるよう新設した方が良いと思います。
- ・もっと早く対策、検討していくべきだった。バス登下校などの話もすすんでいるか気になる。「勝常」と「笈川」と昔からの何とも言えない対立感を感じる時があった。村民が仲良い1つの小学校になって欲しい。
- ・現在、小学校が分かれていることで、各校それぞれの取り組み特色がでて多彩である反面、「湯川村の子供」としての知識に片寄があることが残念に思います。各地区の宝、歴史は村の宝であり、湯川っ子が同じ思いで村を誇れる学習をできる環境が理想だと思います。
- ・人数が多くても「一人一人を大切に」学校にしてほしい。
- ・スクールバスをだしてほしい。小中一貫校になるのも良い。
- ・新しい小学校でなく、既存の小学校を作って欲しい。
- ・幼稚園からきてなんで小学校が分かれるのか分からない。今の小学校を使ってもいいのでは？正直新しい小学校はいらない
- ・学校の方から歌声や笑い声や大きな声が聞こえるような明るい村にしたい。
- ・自分で自立して行動出来るよう、朝の登校や下校などは自分で歩けるようにしたい。
- ・将来は坂下町と統合になる事祈る。私の家では100年前から坂下町と統合望んでおります。
- ・小学生時代は、人間として生きて行く上で、非常に大切な時期だと思います。あせらず、じっくり、自分らしく成長できる学校であってほしいと思います。
- ・既に近隣の町村では、小、中学校の総合(人口も湯川村よりかなり多い)を実施している。これから永い人生においてお互いの切磋琢磨は必要です。生徒数が少ない状況ではそれは望めない。少人数での出来高は井の中の蛙になリかねない。
- ・小学校を一つにして、スクールバスを運行してほしい。(子ども達の安全のため)
- ・湯川村の学校だからこそできることがあると思う。子どもたちが大きくなってもお互いを助け合っていくことができる友達、環境を作してほしい。
- ・遠かれ近かれこの児童数に対して小学校2つが必要かどうか将来的にみてもいつかは1つの小学校での対応となるため早くから予算を立て取り組んでいくべき
- ・他の自治体のように、小・中学校一緒にの学園にしてもよいのかと思う。小・中学校それぞれの人数も少ないので。
- ・複式学級はさけてほしいです。少しでも多い人数で同じ学年の子たちが、切磋琢磨した方が、子ども達の健全な成長につながると思います。ただ、小学校を統合し1つにしたとしても今のままでは村の子ども達は減る一方だと思い、いずれ1つの小学校でも複式学級になることも懸念されます。湯川村で子育てしやすい魅力を発していかない限り近い将来この問題は現実のものになると思います。
- ・学費、養育費を行政で援助し少子化対策(怠っていた一行政)と人材育成を進めてほしい。一子(40万)、二子(80万)、三子(150万)。四子(150万)の出産費用の無償化、また祝金を贈る。産みやすい。育てやすい。
- ・幼稚園、中学校がひとつで小学校だけバラバラになるのはおかしいと思います。
- ・統合となれば通学距離が遠くなる事もあるため、通学バスの運行など、子どもが安全に通えるような対策をお願いしたい。子どもを育てやすい湯川村であってほしいと願う。
- ・統合の小学校がどこにできるかわからないが、遠い地区から通う子どもに関しては、スクールバスが利用できるようにしてほしいと思う。
- ・統合したら、スクールバス必要だ。
- ・小学校をどちらにするかにより、スクールバスその他諸々の課題はあると思うが、子ども達の将来のためにも村がひとつになって協力し合してほしい。もう、笈川は！勝常は！の張り合いはなくすべきではないかと思います。

- ・小学校統一して、スクールバスを利用すればいい。
- ・小さな村なのでから統合することによって児童も父兄も笈川、勝常という地圧を超えて友達の輪が広がってくれることを願っています。
- ・人数が少なくても、閉鎖的ではなく明るくオープンな学校、クラスで伸び伸びと育てほしい。
- ・通学にスクールバス等にする方が良いのでは。
- ・PTAを廃止する。兄弟の人数が多いほど保護者の負担が増える。好きでPTAに参加している人は少ないと思う。少子化が進む原因。
- ・幼稚園～中学校まで統合すれば
- ・今の小中学生に意見を聞いたり何年かさかのぼったりした子どもの意見も聞いてみるのも良いかと
- ・小中一貫校にする
- ・小さい村なので1つの小学校にすべきです(児童が減少する)
- ・空き教室が多くなる「校舎」は本当に必要だろうか？移動教室のように体育館で村の施設は利用できないか？
- ・2校を1校にまとめ、質の向上、充実、洗練されたものに！
- ・通学時の交通バス、鍵っ児の(夫婦共働き家庭の子)放課後の見守り保育等あずかる場所と学校の距離が近いことが望ましい。(夏・冬遠くを歩かせるのはかわいそう)
- ・将来的には中学校と合わせた小中一貫校まで考えた方が良いのでは。
- ・会津坂下町の教育行政を参考にしたらよいと思う
- ・少人数での学習による学力低下が心配である。1校にすることにより、上記のA-Cに該当し、学力アップにつながるかと思います。
- ・校舎・体育館・プール両校とも老朽化が進んでいきます。2校のままだと維持費等がかかってきてしまう。なので1校にした方が良いかと。通学距離が長くなるという問題に関して、バス通及び集団登校で対応したほうが良いかと思います。
- ・統合することで先生の手数が半分に、学校維持費も減るためその減った経費を使って村内をバスによる送迎方式に変更する。河東町、坂下町のような。検討するのが10年遅いです。
- ・通学の負担が大きくなる場合は村政のサポートが必要かと思います。
- ・子ども達がいろんな困難にぶつかりながらも、健やかにたくましく育ってくれる事願ってます。そんな教育を希望します。児童数があまりに少なくてびっくりしました。
- ・中学校と小学校の統合
- ・中学校に小学校も入れることで通学も均等になる
- ・家から学校が遠いため、帰りだけでもバスを出してもらえると助かります。
- ・送迎バス、校舎を新しくする、せめて教室にエアコンの設置
- ・統合の場合、通学はどのようにするのか心配です
- ・幼、保、小、中の一貫教育を目指したらどうか
- ・小学校統合し、スクールバス巡回バスで送迎し、児童クラブも近くにあった方がよい。遠い時はバス利用もできるようにしてほしい
- ・現在集団登校を行っているが集合場所に来ないと激しく連絡したり、集団登校強制をしてる方がいると、この地区に住みたくなくなる。子ども達の関係もその家庭の影響が理由で良くないので、まずはその改善だと感じます。
- ・現在、勝常小に任務している先生の態度(子ども達・保護者会など)や、子ども達に対しての口調が悪いと聞いております。対策などする必要があるのではないかと思っています。(子ども達の心が心配です)子ども達、保護者が小学校に(あずけるのに、行くのに)安心、安全な小学校にして欲しいと思います。
- ・学校が遠くて歩くのが大変
- ・統合になる事が望ましいが子ども達の通学が親子にとって負担にならない様配慮してほしいですね。
- ・勉強していてわからない生徒がいたら積極的に教える。
- ・地対象で未経験(新任)の先生や退職近い先生が多く、子ども達の学力低下が心配されます。もっと活力のある先生が来て下されば！

・世間に学校の名前が知られる様になれば…。(スポーツ、能力(勉強の成績、特技)を活かした学校としての特徴)※先生から見た考え方を記載してほしい。例に人が増えると指導力が下がる等

・子ども達同士が毎日を楽しく過ごせれば良いと思う。

・住んでいることに誇りをもてるような子ども(郷土愛)自分の目標を目指してがんばる子ども。

・中学生になると不登校になる子が多いです。割合的には箕川が多いです。小学校のうちにそうならないように教育してほしい。その為には、統合するのがまずやるべきだと思います。

・統合する、しないの前に現状にあった学校に改修してほしい。特にプール！現状を確認してください。危険箇所だらけです！早急に確認してください。

・スクールバスを考えてほしい。

・統合したらスクールバスなど検討してほしい。

・役場の近くに保育園、幼稚園、中学校があるので新設できるなら小学校も近くにできれば良いと思う。

・村の子どもはあいさつができない。地区や学校付近でもすれ違った人などに会釈すらない！市内の子どもの方ができるのはなぜだろうか？

・自分の孫は小1の年代です。9人は少ないでしょう。

・村所有のバスを導入し安全確保、運転手は村内より数人、契約形態を分けて募集

・学校、家庭、地域の連携で子どもの教育を考えていく。

・小・中学校を一ヶ所に集め、プール、体育館、図書館などを減らしサービスをUPさせる。

・箕川・勝常の壁もなく湯川の子として自覚し成長できればと思います。

・小学校は一校でいいと思う。

・本課題は10年以上前から取り上げられているがなぜ今更検討委員会なのか理解できない。今まで何を調査・検討してきたのか説明をお願いする。今回のアンケートが統合か現状かの2者択一なのにタイトルにあるべき姿を用いるのは相応しくない。そして検討委員会としての調査内容や方向付が記されていない。

・学校も新しくした方が良いと思うので

・スクールバスが必要である。

・現在、乳幼児の孫がおりますが、理想としては2つの小学校がと統合し、着々とその方向に進めて頂きたい切に願います。

・小中一貫校的な教育をしてほしいと思います。校舎が同じ場所でもなくとも、目標を共有した統一した教育をしてほしいと思います。

・勝常、箕川といった地区にとらわれない湯川村としての一つの学校として発展、教育して欲しい。

・自然豊かな村で、明るく元気な声が聞こえる様な学校。いろんな経験(地域行事、社会参加)をして心豊かな子どもに育ててほしい。統合についてもっと早くやるべきだったと思う。準備に時間がかかるのだから。

・担任の先生だけに頼らず、外部のプロに教えてもらえるようなシステムが作られると子どもの学力、体力、その他いろいろな面で子どもにとってより良い学習環境になると思います。

・人数が少ないので1つにした方が望ましい。デメリットよりメリットの効果が大きい。

・早く統合して大勢の子どもたちの走り回る賑やかな小学校が望ましい。

・早急に統合するべきです。

・河東学園、柳津学園のように小中一貫として欲しいのが希望です。学力向上になるかと…

・箕川、勝常どちらも「おらが学校」の我欲を捨て、未来を担う子ども達のことを一番に捉えることが必要

・たくさんの子どもの声がする小学校になれば良いと思う。

・他地区(学校)へ行かず湯川保育所→幼稚園→湯川小学校→中学校と全員が湯川村の良さを感じて心豊かな人間になって行ける事を望みます。

・このまま統合せずにいくと村から子どもが居なくなってしまうと思います。それ位深刻な問題ですよ…。統合して子どもたちにとって、一番良い環境を早く作って頂きたいです。今、保育所に子どもがいますが、不安で仕方がない。(坂下町のような…)統合して、登校する手段が不便になってしまう子もいると思うのでバス登校ができる環境も考えた方が良くと思う。

・この小さな村で、2校を維持管理していくことは負担が大きい(人件費だけではない)この話については保護者からの声もきいてはいたが、村としての考えはどうか知りたい。なるべく負担の少ない方法で他にはない理想の小学校を作ってほしい。結論を急がず、多方面からじっくりと検討を進めてほしい。

・いつの時代になっても湯川村に小学校が存在する事を望みます。

・児童数が増え友人関係が広がり、勉強、運動面で切磋琢磨し社会性豊かな人間形成に役立つ学校を目指して下さい。早急に検討委員会等で協議し統合を推進すべき時期に来てますので学校建設に向け前進されることを希望します。

・湯中と同じもしくは近くに建て、学園としてほしい。いつまでも笈川・勝常にこだわる必要はない。

・少子化は、今に始まった事ではない。村議教育関係者は問題を先送りして来た結果ではないのか。今頃アンケートってどういう事？

・小学校を統合し、通学距離が長くなる地区には通園バスを上手に利用しバス通学とする。

・もし統合するなら、学校から遠い生徒もでてくるから、送迎のバスを出した方がいいと思う。

・いつまで「湯川」になれない地区間の感情は捨てるべき。子どもを思っていたら、すぐにでも新しい統合の校舎を準備すべき！

・子どもたちが安心して学べる小学校をつくることが大事。

・今の子どもたちは、窮屈な中で生活しているように思うので、のびのびと子どもらしく過ごしてほしいなあと思う。

・今回の一世帯一律に4枚の調査について意見を申し述べます。一世帯一律に4枚の調査票が配分されているようだが、そのことが調査結果の信頼性を低下させてしまうのではないかと懸念される。理由として余分な調査票をご認識または故意に対象者以外が使用した場合に、不正確な指数がはじき出されることが考えられる。また、5名以上の家庭では、意見表明する権利を剥奪され、権利侵害を受ける村民が生じる。教育委員会ではこのことをどのように想定して判断されたのでしょうか。見解をお聞きたいものです。社会調査と統計の原則からすればかなり厳しい対応になりますね。

・1学級最低20名位は理想的だと思います。子ども達が小学生から切磋琢磨しながら勉強、運動と頑張っしてほしい。

・これからの村を考えると、1つにまとまって進むべきかと思う。笈川・勝常の別ではなく湯川として進んでいってほしい。

・学校施設の老朽化の解消も考えると統合して1つにするのが合理的。設置場所も中学校近接とするのが望ましい。小中一貫校とするも良い。

・送迎バスの運用が必要である。

・統合し通学用のバスの運行を望みます。

・自分の考えをしっかり持ちはっきり人前でお話できる明るい子

・統合する場合、バス通学等も検討してほしい

・若松で小中高過ごしてきた身としては現在の湯川村の公共サービスなど親切でびっくりすることが多く、朝の小学校も通勤時に見かける限り大人が結構な数出ていて、それがずっと続いてくれると安心です。子どもたちが快適に学習できて、思う存分体を動かせるのであれば別々の小学校でも統合でもどちらでも良いと思います。

・村の財政負担を考えると人口の事が一番が大変な事が出来れば良いのですが、現実的には無理な事だと思うので、小学校は1つで良いと思います！

・小学生と住民とのかかわりを深くしてほしい。ボランティア老人との会話、稲作りに参加等。

・統合しても更に将来については、子どもの数が少なくなることが予想されます。湯川村だけの問題としてだけでなく、もっと大きくなり考える必要があるのでは。そのような仕組みは、国が考えて私たちに示すことが本来の姿では。

・小・中一貫校

・小・中一貫校で

・小・中いっしょ

・さいたま市の様に英語教育にもっと力を入れて欲しい。

・公約しっかり実行して下さい。

・早期の統合希望

・時代の流 2つの小学校がなくなる、さみしいなどない

- ・2つの学校に予算を分けるより、1つにして充実した教育環境をつくってほしい。
- ・学校等を役場周辺に建てその周辺にアパートや住宅等を建て人を誘致していったらいいと思う。
- ・村で小学校2ついらない。他のところでも統合しているのにとってしまう。もっと早く統合を考えるべきで、今までなにをしていたのかと考えてしまう。
- ・統合した後の校舎を活用してほしいです。統合している地区が多いと思うのでどのような活用方法があるのか調べていただき、廃墟にならないようお願い致します。複式の自習はなかなか大変ではないでしょうか。協働的な学習や学び合いが大切だと言われている今、5人では大変かと思います。
- ・本村は少子化の中にあって且つ、中学校迄の学校生活の中で途中分断される事自体子供達にとっては不幸な事。
- ・小学校に限定せず、幼稚園、中学校も含めた学校教育を全体を検討していただきたい。また、小学校統合の場合、廃校後の施設活用についても同時に検討すべきだと考える。
- ・明るく何にでも挑戦する子ども、学校にしてほしい。
- ・統合した場合、現存の校舎は地域の人達が使用できる施設、又は子どもたちの施設など、有効活用してほしい。
- ・中間地点に新校舎を建てて統合した方が良いと思う。
- ・他市町村のように小、中、一貫の学校にしたらどうかと思います。
- ・悪天候や、1人下校時の防犯対策としても、一時的なスクールバスのような取組ができれば安心できると思う。
- ・楽しい学校、行きたくなる学校になってほしいです。
- ・給食無償化の廃止をして、自立できるようにして欲しい。
- ・1つの小学校にして、財政負担を少なくし、その子どもたちの食事に財政を使っていただきたい。できれば学校給食の改善あど。たとえばパンではなく米粉のパンや、牛乳ではなくお茶など、使う野菜はできるだけ無農薬など。
- ・統合した方が学校施設にお金をかけられる。(教育内容の充実)給食にお金をかけ、良い食事を提供できる。(無農薬)
- ・複式学級になるのであれば事前に2つの学年の親にメリット、デメリット(複式としての)があるか説明がほしい。(直接)
- ・統合しても、複式学級になることは避けてほしい。子どもの姿を本当に考慮しての複式なのか、ただ人数が少くない、決まりだからで複式にはしないほしい。複式にもメリットがあるだろうが、そうするのであればそれに対応できるだけの教師をしっかりとつけて頂きたいです。
- ・美田園、穂花地区等、村外より若い方々が移住してきている。色々な空土地分譲でも色々な利便性を考えても、小学校だけ2つというのは不便であると思います。令和の時代でもあるのでぜひ、統合を願います。予算もあると思いますが、無償化をとらえている村長なので、なんとかできるのではないのでしょうか。子どもたちのためにもお願いします。
- ・山間部、僻地でもない。会津のへそ。湯川村の学校が複式学級をよぎなくされるというのは、なんと解せない事である。
- ・小学校を統合して村の財政負担が小さくなった場合には、その分を子ども達や先生方、学校の運営維持に還元してほしい。(子どもたちが色々な遊びができる施設、教員の人員と質の確保など)
- ・学校単独な活動だけでなく、地域のさまざまな年齢の方々との交流をもつことによって地域の活性化が計られ、村で生きているという意識が子どもも大人も高まってゆくことを願う。(会津若松市や喜多方市への依存度が高いと生き残っていけない)村としての団結力が必要だといつも考えている。
- ・湯川村に関心を大人になっても持ち続ける人になる教育を期待します。
- ・その時代に合った教育を取り入れながら子どもたちのための進め方をしていってほしい。
- ・若者の意見を取り入れる村にしてください。
- ・西会津町も河東町も統合しているのに統合が望ましくない理由が分からない。子どもがいなくなってから統合しても意味がない。できるかぎり早く統合してくれることを望みます。
- ・どんな大人にする為に、どんな教育をするのかそれが大事なのでは。今の教育では全く見えない。
- ・村民にひらかれた小学校。コミュニケーションスペースなどもあり交流ができると良いと思う。
- ・会津全体として学校間の交流などできればよいと思う

・これまでの伝統もちろん大事ではあるが、未来に向けた学校運営、教育に取り組んでいただきたい。

・日々の村政対策お疲れ様です。

これも全て少子化から来るものだと思います。統合により複式学級など一時的に解消できますが、更に10年20年経てば同じ問題が生じます。どこの自治体も同じ問題は抱えてますが、住みやすい、子育てしやすい村作りが大切だと思います。すでに取り組んでいると思いますが、時代に合った村独自の魅力ある政策を期待します。

・令和12年度に小学生になる子供は、今はいないが、将来的に子供ができる予定なので、その時のために複式学級ではなく、一つの小学校としてほしい

・小学校は統合が望ましいと考えます。村で先生を雇用するには財政的に限界があると思うし、複式学級は子ども達の学力低下が心配なので、統合して各学年に合った授業を行ってほしいです。また、統合した場合は通学距離の問題も出てくると思うので、通学バスなどを村で運営してほしいです。

・保育所、幼稚園、中学校では一緒に過ごせる同級生が小学校だけ離れてしまうのは交流が少なくなり悲しく思う。幼稚園統合した時に小学校も統合してくれていたら…と思う。

・シンプルに考えて湯川村保育園、湯川中学校なので湯川小学校で良いと思います。2つの小学校で経費をかけ維持するなら送迎巡回バスの方が長期的にみても現実的と考えます。

・統合して役場付近に校舎を新築すべき

・小学校2校の運営や維持管理にかかる費用を、1校に集中した方がいいと思う。

・統合の有無は、このアンケート結果を重視でしょうか。十分な検討も必要だと思いますが、決定が遅くなれば、プール改修のような事が発生していく可能性も大になると考えられます。統合の有無は、期限を決めて決定して頂きたいと思います。

・インクルーシブ教育について、多様性を受け入れる教育は大切だけど、互いが協働できる環境は、互いが歩み寄る姿勢により支えられる。これを、健常な児童にのみ求める教育は間違いで、この延長にあるのは、障害への理解ではなく、絶望や偏見だと思う。環境を整えるための、人員の確保、とくに今がよければそれでいいではなく、将来的にどう周囲と関わっていくのかを視野に入れた支援が出来る機関との連携が必要。また、それを教員に求めると、他の児童へ必要な教育ができなくなるので、やめてほしい。

複式学級への反対。小学校における学習内容は、自習にして対応して良いようなものではなく、以降の全ての場面に活かされ大切な時間である。これを半減させることは、大きな損失を与えるもので、この村で子育てをすること自体が損失となる。これは、村に子育て世代が、他地域へ世帯を移し子育てした方がメリットが多くなるので、村から居なくなる可能性を大きくする。

合わせて、本来なら他地域との合併し、村のあり様自体が変わっていただろうところを、いまだ、勝常地区、笈川地区にこだわりをもつ世代に振り回され、子どもがその犠牲になることは避けてほしい。

図書室の充実について、昨今、総合的な学習に代表されるように、図書室の役割や生涯学習の意味は非常に大きく、子どもにITCからではない情報の提供や環境は必要性を増していく、これへの対応は、司書が不可欠であり、現時点のように、かけもちで本の整理をしていればいいような、村の雇用形態は、教育における図書の軽視としか取れない。ひいては、小学校の学習内容の軽視とも取れる。

ぜひ各学校1人ずつの司書の雇用を検討してほしい。

・将来的にも湯川村の小学校が存続可能な運営をお願いしたい。(他町村へ通うことのないように)

・先程も書きましたが、勝常だの笈川だの言っているのはお年寄りの方ではないでしょうか?そう言う時代ではないと思います。名前が残らないとかわけわからん事言ってる人がいるなら、違う名前にしたら良いと思います。

・湯川村小学校

・勝常小学校

・児童が減少するのは、目に見えているので早々に統合すべきだと思う。

・子どものために小学校は統合した方がいいと思います。スクールバスや学童ルームなどのケアは必要だと思います。

・学校が遠い地区の子どもがいれば、スクールバスを準備する等を考えてもよいと思う。

・少子化や財政を考慮し、笈川、勝常のどちらかの校舎を利用して1つに統合が望ましいと考える。使用しない校舎は、コミュニティー施設等への利用するなど。

・保育所、幼稚園、中学校が1つしかないのに、小学校で2つに分かれる意味がわかりません。児童クラブも同じ、行事も共同実施している状況があるのに、コストだけかかって何のメリットもないのではと思います。

・現状からみても児童の人数増は望めないことは明らかである、無駄な財政を使わず早急に統合すべきではないかと思う。また、筈川、勝常と考えず湯川村全体から見ても2つの小学校はいらないと思う。中学校の空き教室を活用し小中一貫にした方が財政的な面から見てもよいと思う。予算に余裕が出来れば、子供たちの学力向上に繋げるようにした方がよい。また、学童保育においても中学校からであれば近いと思う。将来を担う子供たちの為に早急に考えるべきである。若者がこのままでは定着しない。魅力ある学校作りが必要であると思う。

・生徒の人数が少ないと、できるスポーツの限界があり、子どもの可能性を潰してしまいそう

・保育園、幼稚園、中学校が1つなのにこんなに人口が少ない村で小学校だけ2つあるのが不思議です。建物を新しく造らず中学校で小中学校一貫にしたら良いと思います。

・特にない

・保育園、幼稚園、中学校が一つに統合しているのに、小学校のみ異なり違和感がある。早い段階で一つに統合し、全員が仲良くきめ細やかな教育を受けられるよう教育してほしい

・数年前に勝常小では女子が1人だけの学年があった。子どものことを中心に考えれば、そのころに統合に舵をきるべきだったと思う。12年度までには統合して複式を解消してほしい。

・統合して、児童数の多い筈川小学校を利用し、勝常地区にはスクールバスを出せば、早期に統合も可能だと思います。

・統合する場合は送迎バスは必須

・大人の判断も必要ですが、一番は子供の目線に立って考えていただきたいです。今後子供だけではなく村民の人口が大幅に減少していくことを考えれば、財政的にも統合することが望ましいと思います。勝常村筈川村の争いの痕跡を後世に引き継ぐことのないよう、『湯川村』として望ましい小学校を創っていただければなと思っております。

・中学校校舎の老朽化もある為、いつそのこと河東・柳津のような小・中学校一貫校の整備を強く希望する。

・両小学校のプールの老朽化があるため、早急に対応してもらいたい。
既に卒業しているが、在学中も心配だった。

・いろいろ老朽化してるので早急に統合して、無駄なお金を使わないようにしてください。

・早く1つにしてください。もったいないです。

・財政のことを考えると早く統合して方がいい。

・老朽化の改修費がもったいない。早く統合するべき

・人数のことを考えても早く統合した方がいい。

・具体的に場所は中学校や幼稚園の近くが良いと思います。

・教師が高齢で電子黒板などについていけない、と言われた。これからの子供の教育に遅れを取るんじゃないかと心配です。教師はせめて60才以上の再雇用での担任はやめて欲しい。不要な人権費を抑え統合し、もっと子供のためになる予算を回して欲しい。プールは古すぎて危険なため統合して河東のような温水プールにして欲しい。

・統合後はスクールバスを運行して下さい

・勝常筈川関係なく湯川村の伝統を守る子どもが育つよう教育してほしい

・統合になった際に登下校はどうなるのか。現在、児童クラブに行くだけでも勝常地区の子どもたちは学区外で負担な状況。児童クラブに行く際のバスの検討について昨年度末に話が合ったが、結局何も進まないまうやむやに。しっかりと安全面、子どもたちの負担面(荷物も増えているうえに近年の猛暑)の改善方法がない状態で統合を決定されてしまったら納得いきませんし、統合は賛成できません。

・先生たちの負担を解消しつつ、よりよい学校生活が送れるようにしてほしい。

・世界中ではばたける人生の一步を育てて欲しい場所に

・大熊町の「学び舎 ゆめの森」を参考に、地域と繋がった学校にしてほしい。中学校校舎は失敗ですね。

・子供が安全に安心して学校生活を過ごせるように学校設備の補修もしてほしい(プールの老朽化がひどいようなので)

・専科の先生を増やして担任の先生の負担を減らし児童に充実した教育を受けさせるべだと思う。
水泳の授業をスイミングスクール等に委託するなどして設備投資のコストを教育費に振り向けるべき。

・少人数を強みに教育面の強化を取り組んで欲しいと思います。

・もし、小学校の卒業生の年配の方が、自分の母校を廃校にしたくないなどの理由で拒んでいるのであれば、未来ある子どもたちのために堪えてほしい。

・当事者である、今後、小学生になるお子さんがいる世帯の意見に重点を置いた対応を行っていただきたいです。これから実際に子供を通わせることになる親と既に卒業したその他の人では統合に関する真剣さ、危機感に違いがあると思います。

・規模の小ささを生かして、小中一貫校、義務教育学校を検討してはいかが！

・湯川村に限らず全国的に見ても、学校の先生が足りておらず、子供の数も減っている中、小学校統合は必要なことだと思います。

・これから7年後(R13年度)までの児童生徒数、学級数の推移とグラフがありました。

その後の10年、20年先はどうなるのでしょうか？

児童数が増加する可能性も含めて、考えた所、一時期に増えたとしても、また減少していく可能性の方が高い気がします。

参考例までに、他の場所、例えば山都ともう1つの地区などは、統合して1つの小学校になり、送迎バスで小学校まで登校しています。

今までの学校をそのまま残せば、通学は距離的には短くても、集団登校が出来なくて特に低学年だけでは、交通面、防犯の面でも、安心出来ません。

幼稚園が統合して湯川幼稚園になった経緯も含めて、小学校も今のところ児童数が多い小学校の方に統合して、距離的に難しい部落を個別に送迎バスを手配する等、両者不平等のない様にしていくのが良いと思います。

・回答が遅くなり申し訳ありません。期限を過ぎてしまいましたが、送信させていただきます。

結論として、「複式学級は望ましくない」と考えております。理由はいくつかあります。

まずは学習のこと。いずれの教科においても、小学校は学習の導入期にあり極めて重要な時期です。まだ学習の仕方も理解できていない時期に、多学年の授業を同時に行うことになれば、子どもは混乱しないでしょうか。無為に待っている時間が長くなるのではないでしょうか。また、先生にとっても、多学年分の授業準備、評価やフォローを行うということが大きな負担にならないでしょうか。少人数であることで、一人ひとりに目が届く・きめ細かい指導ができるとメリットに挙がるがありますが、先生方が人数を減らされることにより個々人に増す負担を考えると、(現状でもギリギリの教員数で頑張っているのに、多学年分の学級経営…)そう楽観視はできないと感じます。最終的に子どもたちを見守る目が減るだけなのではないでしょうか。あまりに小規模な小学校は、人間関係も固定化されてしまう恐れがあります。子ども同士でも大人と子どもでも、相性もありどうしても合わない、ということはあるかもしれませんが、人間関係が固定化されると逃げ場がありません。結果として転校するしかない、という事例は既に何度かあったのではないのでしょうか。固定化された人間関係を避けるためや、選択肢の乏しい部活動等を避けて、村外に進学することを選んだ事例もあったことと思います。また、学級数が減少することで、学校図書館なども充実を望めない恐れがあります。特別な配慮が必要な時のための、加配の先生は学級数が少なくてもお願いできるのでしょうか。小学校は学年により発達の違いが大きく、精神面でも肉体面でも配慮が必要ですが、学年の大きな子が小さい子の面倒を見る、それも大切な成長の機会であり尊いことですが、マウントを取ることで自己の存在を優位にする子どもや・常に小さいものへの配慮を求められることにストレスを感じる子どもなど、デメリットも多く考えられます。

子どもが村の学校に魅力を感じないなら、将来成長したとき、村を支えようとは思えないかもしれません。

私は湯川村の小学校は、将来的には村役場の近くに統合するのが望ましいのではないかと考えております。幼稚園までに築いた友人関係を壊して二つの小学校に分かれることに対し、子どもたちから悲しみの声を何度も聞きました。複式学級にしてまで分かれた学校を維持するより、統合したほうが子どもたちは喜ばしいのではないのでしょうか。学校設備の老朽化も致し方ないですが村にとって大きな負担です。二つの学校を個々に修繕し続ける負担と、統合して一つを維持していくのと、将来的にはどちらが良いのでしょうか。

通学の問題に関しては、村の真ん中近くに学校を統合し、幼稚園のようにバスを利用できるようにすれば良いように思います。

私も子どもだった頃は徒歩で通学し、その道すがらにたくさんの楽しい発見があったので、バス通学はその経験が失われるかもしれません。バスの維持費・運転手の人件費も大きいでしょう。

けれども昨今の交通事情や不審者への恐れ、熱中症の危険性など、「一人では登下校させられない」時代なのであれば、村でバス通学を援助させられれば心配が減るのでは、と思います。

村の公民館や図書館、児童クラブ等も集約して、社会教育・生涯教育の場とし、老若男女が共に成長する場を目指せたら良いのではないかな、と思います。

以上とりとめのない長文となってしまう誠に恐縮です。最後になりますがこの度はこのような意見をお伝えする機会を与えていただきありがとうございました。

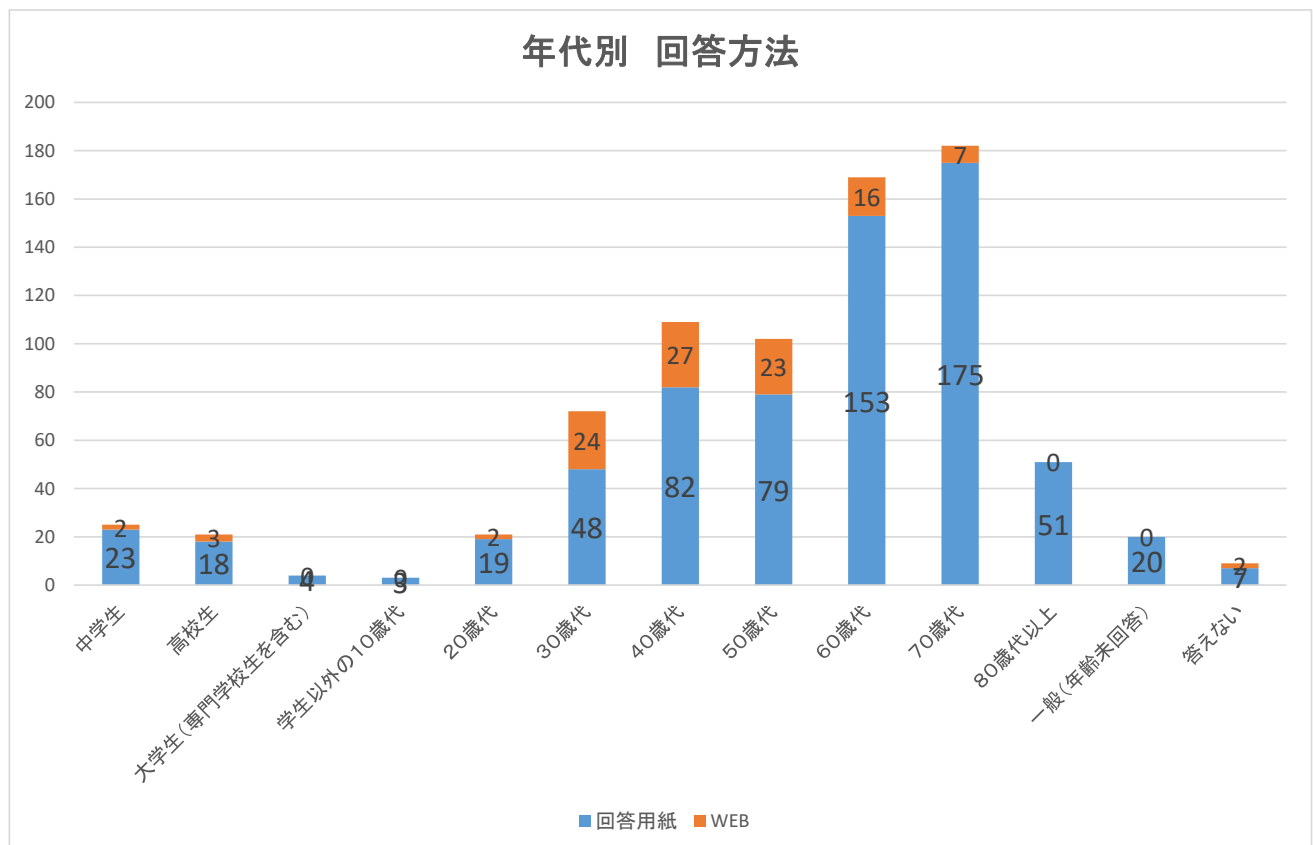
・せっかく、保育所～幼稚園まで友達とずっと一緒なのに、わざわざ2つに分けてバラバラにする事にメリットを感じない。小学校だけバラバラになり中学校でまた一緒なら、最初からずっと1つの学校で良い。通学路の心配だが、2つの学校で予算を使い先生を雇うよりも遠い所の子供達には、バスを出すようにするなどそちらに予算を使う方が良いと思う。

湯川村の小学校の「あるべき姿」についてのアンケート 区分別アンケート集計結果

アンケート回答方法

年代別 回答方法

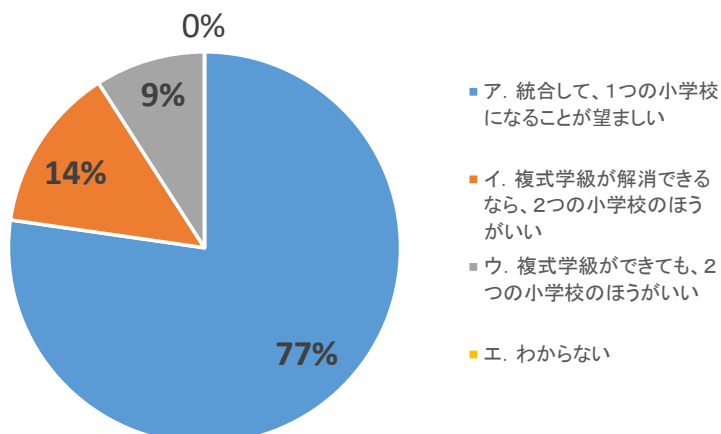
	人数	回答用紙	WEB
中学生	25	23	2
高校生	21	18	3
大学生(専門学校生を含む)	4	4	0
学生以外の10歳代	3	3	0
20歳代	21	19	2
30歳代	72	48	24
40歳代	109	82	27
50歳代	102	79	23
60歳代	169	153	16
70歳代	182	175	7
80歳代以上	51	51	0
一般(年齢未回答)	20	20	0
答えない	9	7	2
計	788	682	106



1③ 令和12年度に小学2年生、小学3年生になるお子さん、お孫さんがいらっしゃるでしょうか？

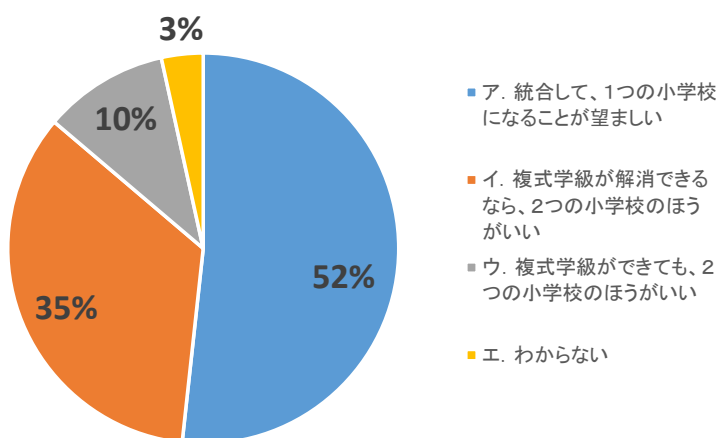
	人数
2年生になる子がいる	19
ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい	17
イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい	3
ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい	2
エ. わからない	0

「2年生になる子がいる」保護者の方の回答



	人数
3年生になる子がいる	25
ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい	15
イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい	10
ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい	3
エ. わからない	1

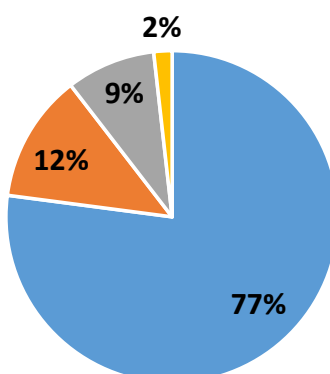
「3年生になる子がいる」保護者の方の回答



2 笈川・勝常の2つの小学校が統合して1つの小学校になることが望ましいか、2つの学校のまま存続することが望ましいか？

	人数
ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい	649
イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい	105
ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい	73
エ. わからない	15
計	842

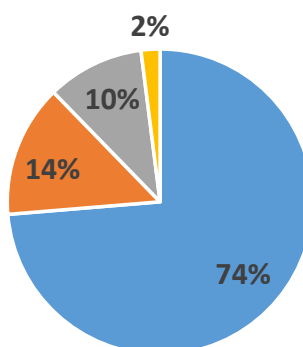
統合して1つの小学校になることが望ましいか、2つの学校のまま存続することが望ましいか？
(全体)



- ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい
- イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい
- ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい
- エ. わからない

	人数
男性	363
ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい	294
イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい	56
ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい	41
エ. わからない	8

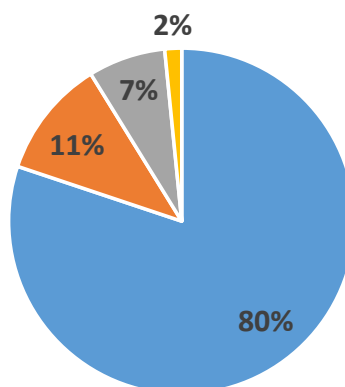
統合して1つの小学校になることが望ましいか、2つの学校のまま存続することが望ましいか？
(男性)



- ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい
- イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい
- ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい

	人数
女性	400
ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい	355
イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい	49
ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい	32
エ. わからない	7

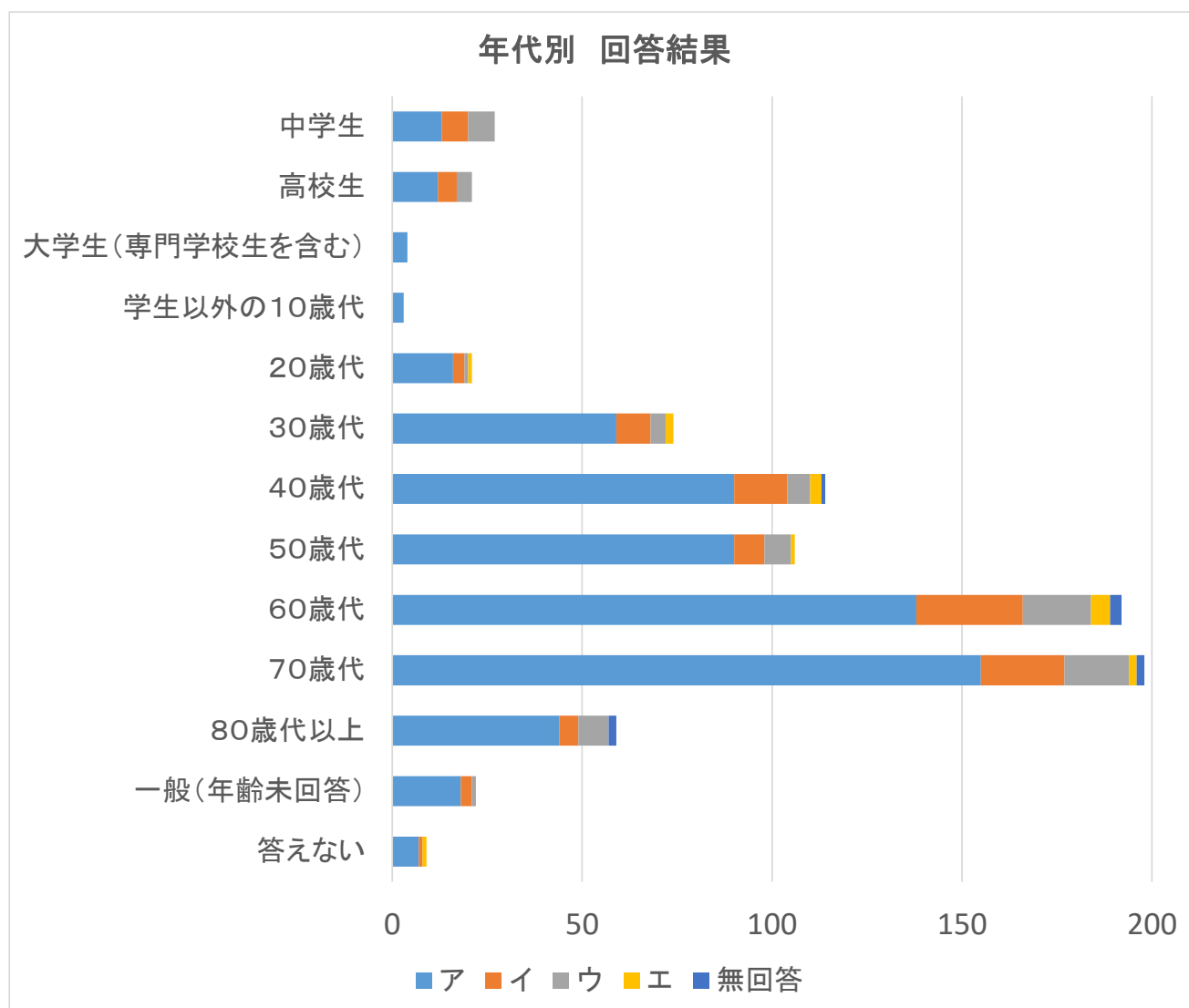
統合して1つの小学校になることが望ましいか、2つの学校のまま存続することが望ましいか？
(女性)



- ア. 統合して、1つの小学校になることが望ましい
- イ. 複式学級が解消できるなら、2つの小学校のほうがいい
- ウ. 複式学級ができて、2つの小学校のほうがいい
- エ. わからない

年代別 回答結果

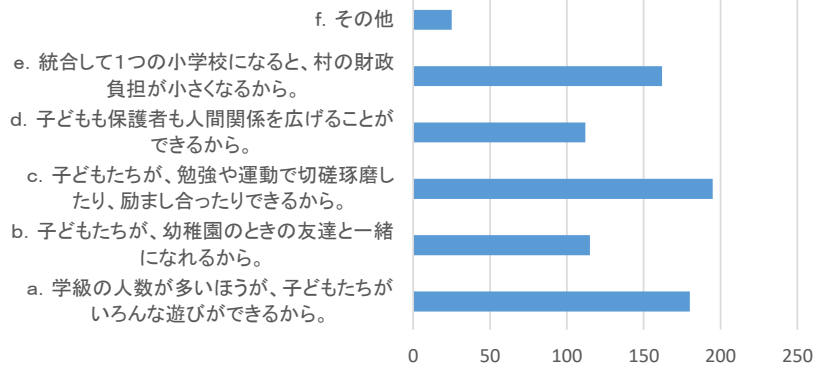
	人数	ア	イ	ウ	エ	無回答
中学生	25	13	7	7	0	0
高校生	21	12	5	4	0	0
大学生(専門学校生を含む)	4	4	0	0	0	0
学生以外の10歳代	3	3	0	0	0	0
20歳代	21	16	3	1	1	0
30歳代	72	59	9	4	2	0
40歳代	109	90	14	6	3	1
50歳代	102	90	8	7	1	0
60歳代	169	138	28	18	5	3
70歳代	182	155	22	17	2	2
80歳代以上	51	44	5	8	0	2
一般(年齢未回答)	20	18	3	1	0	0
答えない	9	7	1	0	1	0
計	788	649	105	73	15	8



「ア」を選択した理由

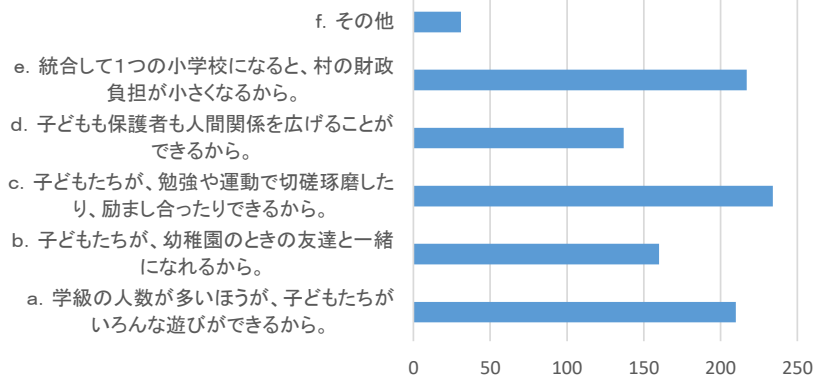
男性	人数
a. 学級の人数が多いほうが、子どもたちがいろんな遊びができるから。	180
b. 子どもたちが、幼稚園のときの友達と一緒にになれるから。	115
c. 子どもたちが、勉強や運動で切磋琢磨したり、励まし合ったりできるから。	195
d. 子どもも保護者も人間関係を広げることができるから。	112
e. 統合して1つの小学校になると、村の財政負担が小さくなるから。	162
f. その他	25
計	789

「ア」を選択した理由(男性)



女性	人数
a. 学級の人数が多いほうが、子どもたちがいろんな遊びができるから。	210
b. 子どもたちが、幼稚園のときの友達と一緒にになれるから。	160
c. 子どもたちが、勉強や運動で切磋琢磨したり、励まし合ったりできるから。	234
d. 子どもも保護者も人間関係を広げることができるから。	137
e. 統合して1つの小学校になると、村の財政負担が小さくなるから。	217
f. その他	31
計	989

「ア」を選択した理由(女性)



湯川村の小学校の「あるべき姿」についてのアンケート集計結果（小学生）

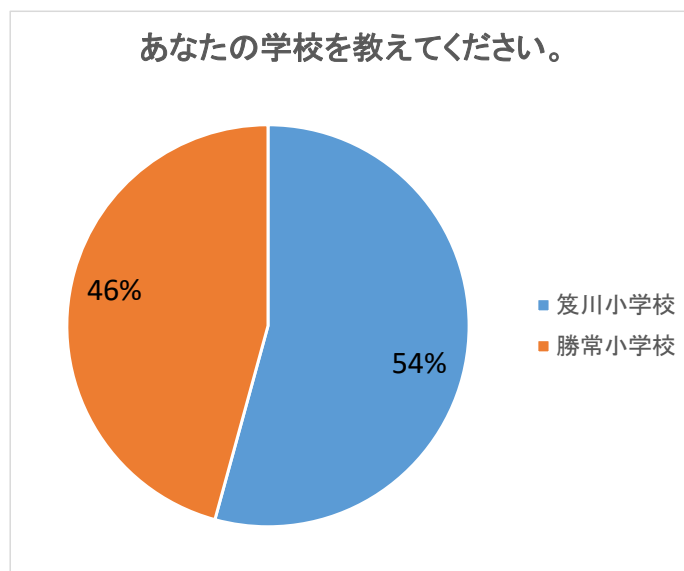
アンケート実施期間 令和6年10月

アンケート対象者数 94人

回答者数 94人

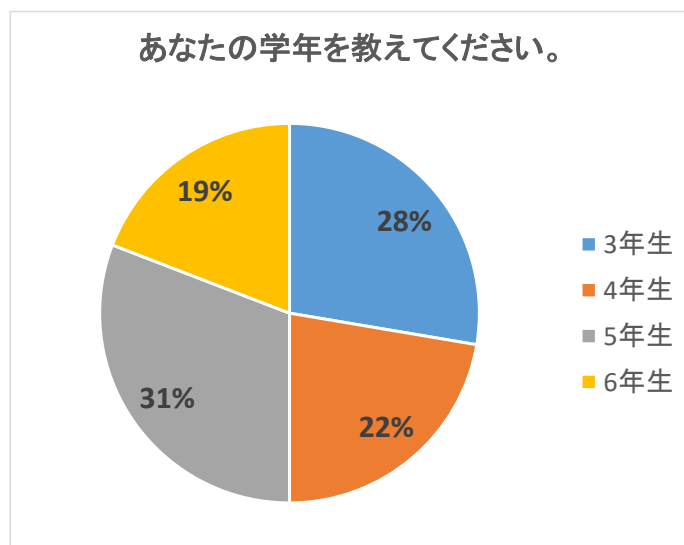
1① あなたの学校を教えてください。

	人数
笈川小学校	51
勝常小学校	43
計	94



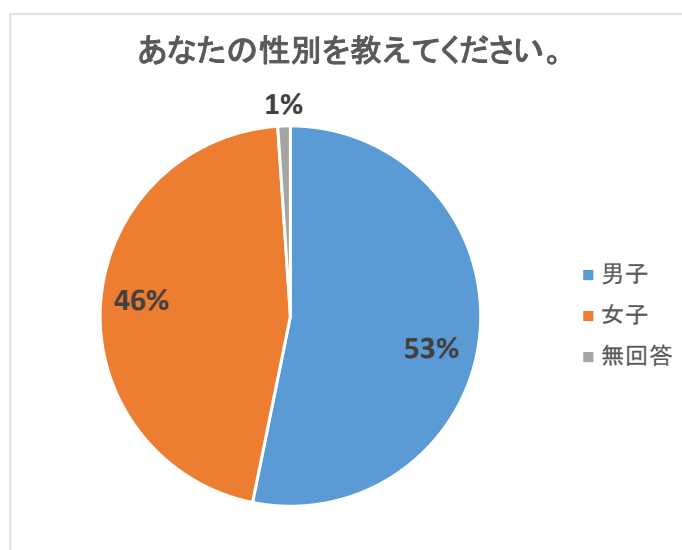
1② あなたの学年を教えてください。

	人数
3年生	26
4年生	21
5年生	29
6年生	18
計	94



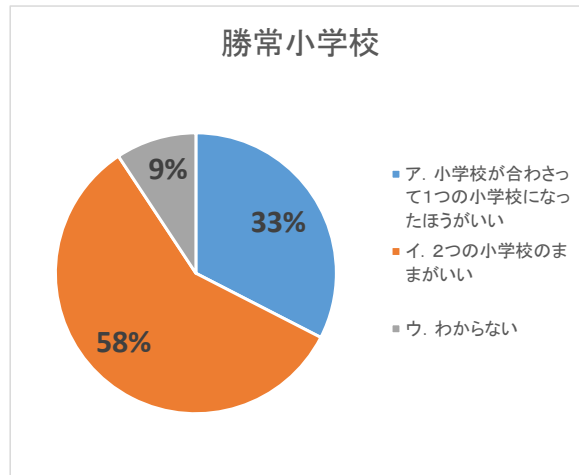
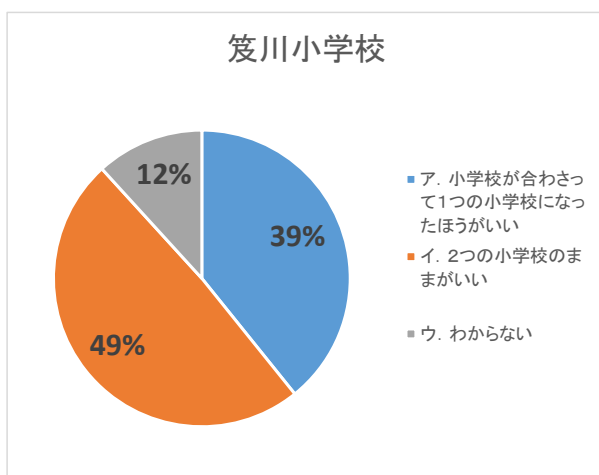
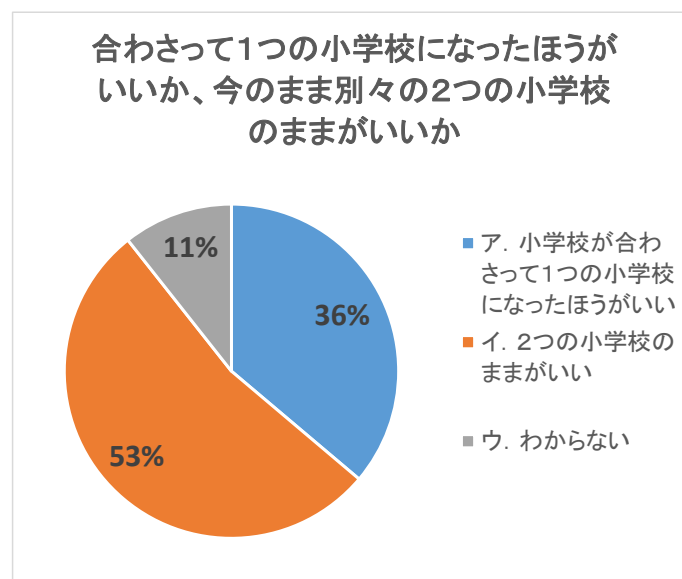
1③ あなたの性別を教えてください。

	人数
男子	50
女子	43
無回答	1
計	94



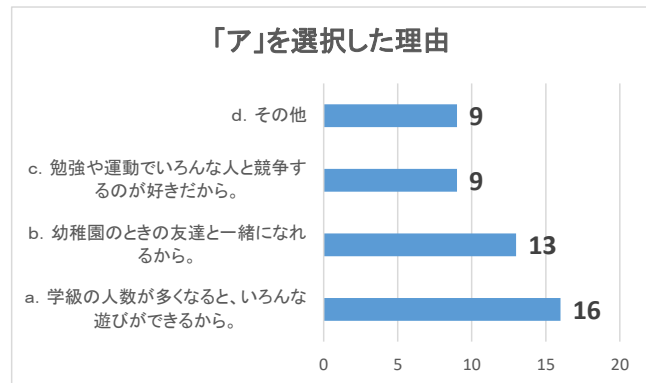
2 笈川・勝常の2つの小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいいか、今のまま別々の2つの小学校のままだほうがいいか？

	人数
ア. 小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいい	34
イ. 2つの小学校のままだほうがいい	50
ウ. わからない	10
計	94



「ア. 小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいい」を選択した理由

	人数
a. 学級の人数が多くなると、いろいろな遊びができるから。	16
b. 幼稚園のときの友達と一緒にになれるから。	13
c. 勉強や運動でいろんな人と競争するのが好きだから。	9
d. その他	9
計	47

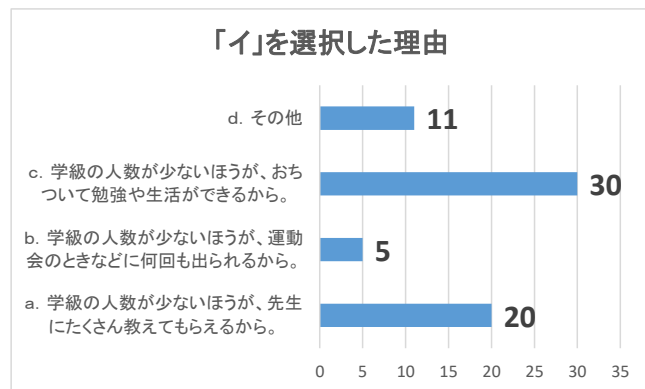


■「d. その他」の理由

- ・なかよくできるから。
- ・しょうじょうでなかがいいことあえるから
- ・人がすくなくなっているのでつなげたら、良いと思うからです。
- ・中学生になったときも親しみやすいから。たくさんの人の意見、考えが聞けるから。
- ・友だちが多くなるから
- ・勝常小学校のほうが友達が多いから
- ・幼稚園の友達と一緒にになれるから。
- ・多くの人がいると色々な人とかかわれるから。
- ・仲がいい友達と離れず、そのまま仲よくいられるから

「イ. 2つの小学校のままだいい」を選択した理由

	人数
a. 学級の人数が少ないほうが、先生にたくさん教えてもらえるから。	20
b. 学級の人数が少ないほうが、運動会のときなどに何回も出られるから。	5
c. 学級の人数が少ないほうが、おちついて勉強や生活ができるから。	30
d. その他	11
計	66



■「d. その他」の理由

- ・児童クラブであえるから。中学校であえるから。
- ・なかよしがあるから
- ・先生が大変になるから。
- ・学校でそれぞれの予定もあるから。
- ・それぞれの学校ごとの個性を残しておきたいから。
- ・勝常小がすきだから。
- ・感じわるいから
- ・アのように人数が多いといろんなあそびができるけど少なかったらおちついて勉強できる
- ・れきしがなくなるから
- ・1. 色々な事に取りくめるから。2. れきしや思い出がなくなるから。
- ・うるさくなくて、落ちつくから

「ウ. わからない」を選択した理由

■「ウ. わからない」の理由

- ・どちらでもよい。
- ・もうそのときにはいない

○将来の湯川村の小学校について、考えていることがあったら、下を書いて下さい。

■将来の湯川村の小学校についての考え

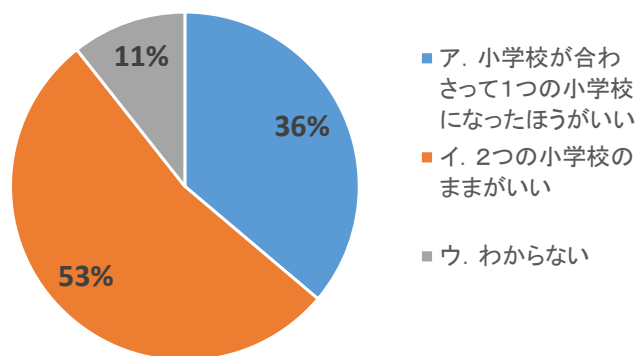
- ・シーソーがほしい
- ・うさぎをかいたい。
- ・学校をきれいにしてほしい
- ・きょう科をふやしてほしい。たとえばゲームのきょう科、お店でなにか買うきょう科など。すべり台ほしい
- ・学校でゲーム
- ・ゲームのきょうか
- ・もっとみんなでブランコができるようにしてほしい
- ・がっこうがもっときれいになってほしい
- ・じゅぎょうのデジタル化。
- ・友達がなくなるから。
- ・今の学校では古すぎるので、年に1つでもいいから新しくした方が良くと思います。
- ・学校にエレベーターをつける
- ・温水プールを付けてほしい。
- ・学校で、一週間に1回、好きな授業(先生がいない学校 授業中にねていい)。かいだんをスロープにする
- ・校庭のゆう具を新しくする。プールを新しくする
- ・プールをきれいにしてほしい
- ・箕川小、勝常小を合わせれば、それぞれの学年でしっかり勉強もできるし、1つ1つの学年がたくさんの人数で活動することができるから、合わせたほうが良いと思う。
- ・①しょうがい者にもやさしい都会の小学校みたいなユニバーサルデザインのせっち。
- ②屋上に校庭、プールをせっちし、今の校庭、プールの後地には、地いきの人たちとの交流を計った多もく的せっちの建せっち。
- ・学校を広くする。部活をつくる。
- ・エレベーターがついかされる
- ・いじめのない、仲良しの小学校
- ・部活の文化部と運動部を入れてほしい
- ・いまの小学生い下の子たちがおい川の人としょうじょうの中の人になかがいいのに、小学校がばらばらなのはかわいそうだと思う
- ・小学校をがったいしないほしい。
- ・じどうクラブを近くに
- ・もし学校が1つになって学校から家がとおい子には、スクールバスなどをつかってほしい。
- ・今は、ICT機械が多くなっているので宿題は、紙じゃなくタブレットが支給されているのでタブレットで宿題をしたほうが良いと思います。

湯川村の小学校の「あるべき姿」についてのアンケート集計結果(小学生)

2 笈川・勝常の2つの小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいいのか、今のまま別々の2つの小学校のままだいのか？

	人数
ア. 小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいい	34
イ. 2つの小学校のままだいい	50
ウ. わからない	10
計	94

合わさって1つの小学校になったほうが
いいか、今のまま別々の2つの小学校
のままだいいか



笈川小学校

	人数	3年生	4年生	5年生	6年生
ア. 小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいい	20	2	5	5	8
イ. 2つの小学校のままだいい	25	10	6	8	1
ウ. わからない	6	0	1	2	3
計	51	12	12	15	12

勝常小学校

	人数	3年生	4年生	5年生	6年生
ア. 小学校が合わさって1つの小学校になったほうがいい	14	5	2	4	3
イ. 2つの小学校のままだいい	25	6	6	10	3
ウ. わからない	4	3	1	0	0
計	43	14	9	14	6

小学校のあるべき姿検討委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 本村の児童数の長期的な見通しを踏まえながら、子ども達にとってより良い教育環境の確保と多様な教育活動に対応できる村立小学校のあるべき姿、及び将来の学校像等に対する本村の基本的な方針について全村的な視点に立って幅広い見地から検討するため、小学校のあるべき姿検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、前条の目的を達成するため、湯川村教育委員会（以下「教育委員会」という。）の求めに応じ、調査及び検討を行い、教育委員会に報告するものとする。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員20名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる機関に属する者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 笈川小学校PTA（2名）
- (2) 勝常小学校PTA（2名）
- (3) 湯川中学校PTA（2名）
- (4) 湯川村保育所保護者
- (5) ゆがわ幼稚園保護者
- (6) 湯川村公立学校における学校運営協議会委員（4名）
- (7) ゆがわ幼稚園運営評価委員
- (8) 区長会
- (9) 校園長会
- (10) 学識経験者
- (11) 公募委員
- (12) その他、教育委員会が必要と認める者

3 検討委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

4 委員長は、検討委員会を総括する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度末日までとする。

(会議)

第5条 検討委員会の会議は、委員長が招集し、会議の座長を務める。

2 検討委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことはできない。

3 検討委員会の議事は、会議に出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 検討委員会は、必要があると認めたときは、関係者に会議への出席を求め、又は関係者から意見若しくは説明を聴取し、若しくは資料の提示を求めることができる。

(謝礼)

第6条 検討委員会の委員が会議に出席した場合は、1回あたり1,000円の謝礼を支給する。

(庶務)

第7条 検討委員会の事務は、教育委員会学校教育課内において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。